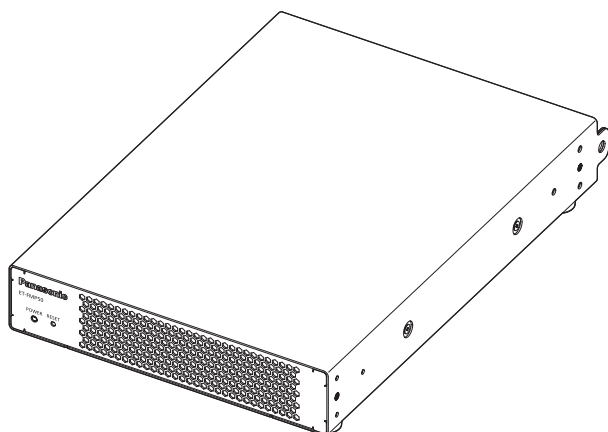


取扱説明書 詳細編

メディアプロセッサ **業務用**

品番 **ET-FMP50**
ET-FMP20



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書は、ファームウェアバージョン 4.10 以上に対応しています。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用の前に“安全上のご注意”（ 3～5 ページ）を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体の製造番号をお確かめください。

HDMI[™]
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

もくじ

安全上のご注意 3

第 1 章 はじめに

ご使用になる前に	10
製品の意図する使い方	10
本機の運搬について	10
本機の設置について	10
セキュリティに関するお願い	11
本機が対応するアプリケーションについて	11
保管について	11
廃棄について	11
付属品の確認	12
別売品	12
各部の名称とはたらき	13
本体	13

第 2 章 準備

設置する	16
設置の前に	16
使用可能なコンセント	16
ラックに取り付ける場合	16
高所に設置する場合	19
接続する	22
接続の前に	22
外部機器との接続（例）	22

第 3 章 基本的な使い方

電源を入れる / 切る	24
AC アダプターを接続する	24
電源インジケーターについて	27

第 4 章 設定と操作

Web 制御機能を使用する	29
使用できるコンピューター	29
接続例	29
設定する	31
Web ブラウザーからアクセスする	33
［ステータス］について	35
［プレーヤー］について	37
［言語 (Language)］について	44
［システム］について	45
［その他］について	52
再生機能を使用する	56
スケジュール再生を行う	56
ストリーミング再生を行う	56
同期再生を行う	57

第 5 章 その他

お手入れ	59
お手入れの前に	59
お手入れ	59
故障かな！？	60
自己診断表示について	61
エラーや警告への対応	61
仕様	62
外形寸法図	63
さくいん	65
保証とアフターサービス	66
保証書	66
補修用性能部品の保有期間	66
修理のご依頼について	66

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

   	してはいけない内容です。
 	実行しなければならない内容です。

**警告**

電源について

（異常・故障時には直ちに使用を中止する）

 電源プラグ を抜く	■ 異常があったときは、電源プラグを抜く [内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで AC アダプターが損傷を受けたとき、煙や異臭、異音が発生したとき、異常に熱いとき] (そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。) ⇒ 異常の際、電源プラグをすぐに抜けるように、コンセントを本機の近くに取り付けるか、配線用遮断装置を容易に手が届く位置に設置してください。 ⇒ お買い上げの販売店にご相談ください。
	■ 電源プラグ（コンセント側）、電源コネクター（AC アダプター側）、AC アダプターのプラグ（本体側）は、根元まで確実に差し込む (差し込みが不完全であると、感電や発熱による火災の原因になります。) ⇒ 傷んだプラグやゆるんだコンセントのまま使用しないでください。 ■ 電源プラグのほこりなどは、定期的にとる (プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災や感電の原因になります。) ⇒ 半年に一度はプラグを抜いて、乾いた布で拭いてください。 ⇒ 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
	■ 電源コード、電源プラグ、電源コネクター、AC アダプターが破損するようなことはしない [傷つける、加工する、高温部や熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど] (傷んだまま使用すると、火災や感電、ショートの原因になります。) ⇒ 電源コードや AC アダプターの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。 ■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない (たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災の原因になります。) ■ 付属の AC アダプター・電源コード以外は使用しない (付属以外の AC アダプター・電源コードを使用すると、ショートや発熱により、感電・火災の原因になることがあります。また、付属の電源コードを使い、コンセント側でアースを取らないと感電の原因になります。)



警告（つづき）

電源について

 ぬれ手禁止	■ ぬれた手で電源プラグ、電源コネクター、AC アダプターに触れない (感電の原因になります。)
 接触禁止	■ 雷が鳴り出したら、本体、電源コード、電源プラグ、電源コネクター、AC アダプターに触れない (感電の原因になります。)

ご使用・設置について

	■ 放熱を妨げない [本体や AC アダプターに布や紙などを被せない] (内部が高温になり、故障や火災の原因になることがあります。) ⇒ 本体の吸気口、排気口をふさがないように設置してください。 ■ カーペットやスポンジマットなどのやわらかい面の上で本機を使用しない (内部に熱がこもり、本機の故障、火災ややけどの原因になることがあります。) ■ 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かない (火災や感電の原因になることがあります。) ■ 荷重に耐えられない場所や不安定な場所に設置しない (落下などによる本機の破損・変形や、大きな事故やけがの原因になります。) ■ 内部に金属類や燃えやすいものなどを入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない (ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。) ⇒ 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。 ⇒ 水などの液体が内部に入ったときは、販売店にご相談ください。 ⇒ 特にお子様にはご注意ください。 ■ 長時間直接触れて使用しない (本体や AC アダプターの温度の高い部分に長時間触れていると、低温やけど^{*1}の原因になります。) ^{*1}：血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人（高齢者）などは、低温やけどになりやすい傾向があります。
 分解禁止	■ 分解や改造をしない (内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器の故障の原因になります。) ⇒ 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。
	■ 高所への取り付けなどの設置工事は、工事専門業者または販売店に依頼する (コードの破損などにより、火災や感電の原因になることがあります。) ⇒ 市販の落下防止ワイヤーを用いて落下防止の対策を講じてください。

付属品について

	■ 付属のねじは、乳幼児の手の届くところに置かない (誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。) ⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、医師にご相談ください。
--	---



注意

電源について

 電源プラグを抜く	■ 長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く (電源プラグにほこりがたまり、火災・感電の原因になることがあります。) ■ お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く (感電の原因になることがあります。)
	■ 電源コードを取り外すときは、必ず電源プラグ(コンセント側)や、電源コネクタ(AC アダプター側)を持って抜く (コードを引っ張るとコードが破損し、感電、ショートによる火災の原因になることがあります。)

ご使用・設置について

	■ 本体や AC アダプターの上に重いものを載せたり、乗ったりしない (バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。また、本体の破損や変形、AC アダプターの故障の原因になることがあります。) ■ 不安定な場所に設置しない (落下などによる本機の破損・変形や、けがの原因になります。) ■ 異常に温度が高くなる所に置かない (外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。) ⇒ 直射日光の当たる所や、熱器具などの近くには、設置・保管をしないでください。
	■ 移動させる場合は、必ず接続線を外す (コードの破損などにより、火災や感電の原因になることがあります。)

付属品について

	■ AC アダプターに強い衝撃を与えない (落とすなどして強い衝撃が加わった AC アダプターをそのまま使用すると、感電、ショートによる火災の原因になることがあります。) ⇒ AC アダプターの修理はお買い上げの販売店にご相談ください。
---	--

■商標などについて

- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface という語、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- NDI® は、Vizrt NDI AB の米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac と macOS、Safari、iPhone は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- IOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Android および Google Chrome は Google LLC の商標です。
- Dante® は Audinate Pty Ltd の登録商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中では ® や TM マークは明記していません。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License および VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為に関わるお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされていません。
 - (i) 画像情報を AVC 規格、VC-1 規格および MPEG-4 Visual 規格に準拠して（以下、AVC/VC-1/MPEG-4 ビデオ）記録すること
 - (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された AVC/VC-1/MPEG-4 ビデオ、またはライセンスを受けた提供者から入手した AVC/VC-1 ビデオを再生すること詳細については MPEG LA, LLC ホームページ (<http://www.via-la.com>) をご参照ください。

当製品に関するソフトウェア情報

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック プロジェクター & ディスプレイ株式会社が独自に開発したソフトウェア
 - (2) 第三者が保有しており、パナソニック プロジェクター & ディスプレイ株式会社にライセンスされたソフトウェア
 - (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
 - (4) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version3.0 (GPL V3.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
 - (5) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
 - (6) GPL V2.0、GPL V3.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア
- 上記 (3) ~ (6) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。詳細は、各オープンソースソフトウェアのライセンス条件をご参照ください。

オープンソースソフトウェアライセンスは本製品のファームウェアに格納されており、Web ブラウザーを使用して本機にアクセスすることでダウンロードできます。詳しくは“Web 制御機能を使用する” (☞ 29 ページ) をご覧ください。

パナソニック プロジェクター & ディスプレイ株式会社は、本製品の発売から少なくとも 3 年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、GPL V3.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口 (E メール) : oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

■本書内のイラストについて

- メディアプロセッサ本体などのイラストは、実際とは異なることがあります。
- ご使用のコンピューターの機種、OS や Web ブラウザーの種類によって、実際にコンピューターの画面に表示されるものとは異なることがあります。

■参照ページについて

- 本書では、参照ページを (☞ 00 ページ) のように示しています。

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。



これらのシンボルマークは、ヨーロッパ連合（EU）をはじめとするリサイクルシステムを備えた国にのみ有効です。

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。



本製品（付属品を含む）に表示されている、安全性に関する図記号

～ AC（交流）

== DC（直流）

⬡⬢⬣ 〈DC IN〉端子の極性

定格ラベルは、本機の底面に貼付されています。

本機の特長

スクリーン調整機能搭載

- ▶ スクリーン上に発生する幾何学ひずみをあらかじめ補正した映像やエッジブレンディング調整を施した映像を、本機で一元的に生成^{*1}し、複数のプロジェクターへ個別に映像を送出することで、個々のプロジェクターが有する同機能を使用することなく、シームレスなマルチ画面の表示を実現できます。
- ▶ 複数のプロジェクターの投写映像をカメラで取り込むことで、幾何学ひずみやエッジブレンディングなどのスクリーン調整を自動で行うことができます^{*1}。

^{*1} 補正・調整の設定やカメラ連携による自動調整には、アプリケーションソフト「幾何学歪補正・設置調整ソフトウェア」(Geometry Manager Pro for FMP series) または「Visual Software Suite」を使用します。「幾何学歪補正・設置調整ソフトウェア」(Geometry Manager Pro for FMP series)、「Visual Software Suite」のダウンロード、対応するカメラについては、次の Web サイトの PASS にログインし、ソフトウェアのダウンロードページをご覧ください。
<https://connect.panasonic.com/jp-ja/projector/pass>

多彩な再生機能

- ▶ 内蔵ストレージに保存した静止画 / 動画コンテンツを、お客様で自身で作成したスケジュールに従って再生する機能^{*2}を搭載しています。また、IP 伝送方式の 1 つである NDI に対応しており、LAN を介したビデオの再生をすることもできます。
- ▶ HDMI 出力端子を 4 つ搭載しており、1 出力 / 4 出力のいずれかを選択して映像を送出することができます。

^{*2} コンテンツの登録やスケジュールの作成には、アプリケーションソフト「コンテンツマネジメントソフトウェア」(Content Management Software for FMP series) または「Visual Software Suite」を使用します。「コンテンツマネジメントソフトウェア」(Content Management Software for FMP series)、「Visual Software Suite」のダウンロードについては、次の Web サイトの PASS にログインし、ソフトウェアのダウンロードページをご覧ください。
<https://connect.panasonic.com/jp-ja/projector/pass>

自由度の高い設置性

- ▶ トラスへの設置やラックへの組み込みに適した、軽量コンパクトな 1U ハーフラックサイズ^{*3}を実現しました。
※脚を外したときのサイズです。

^{*3} 底面のゴム脚を取り外した場合

第 1 章 はじめに

ご使用の前に知っておいていただきたい内容やご確認いただきたい内容について説明しています。

ご使用になる前に

製品の意図する使い方

本機は、コンピューターを使用することなく映像コンテンツを再生し、その映像・音声信号をプロジェクターに送出することを目的としています。

本機の運搬について

- 運搬の際は、過度の振動や衝撃を加えないようにお取り扱いください。内部の部品が傷み、故障の原因になります。

本機の設置について

■ 屋外に設置しないでください

本機は室内でご使用ください。

■ 以下の場所には設置しないでください

- 車両・船舶など、振動や衝撃が加わる場所：内部の部品が傷み、故障の原因になります。
- 海の近くや腐食性ガスが発生する場所：部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。
- 高圧電線や動力源の近く：妨害を受ける場合があります。

■ 高所への取り付けなどの設置工事は、必ず工事専門業者、または販売店にご依頼ください

本機を高所へ設置する場合は、安全確保のため、工事専門業者またはお求めの販売店に施工を依頼してください。

■ 海拔 4 200 m 以上の場所に設置しないでください（海拔 4 200 m は本機の性能を保証する高度の上限です）

■ 周囲温度が 40℃ を超える場所で使用しないでください

本機を使用する場所の海拔高度が高すぎたり、周囲の温度が高すぎたりすると、部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

本機の使用温度は、0℃～40℃です。

■ 本機の吸気口 / 排気口をふさいだり、吸排気を妨げたりするような状態で使用しないでください

本機内部の温度が高すぎると、部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。本機前面の吸気口、後面の排気口の前に、それぞれ 200 mm 以上の空間を確保してください。

本機を密閉した空間など、温度が上昇しやすい環境下に設置する場合は、別途、空調設備、換気設備を設けてください。換気が不十分な場合、排気熱が滞留することで、本機の保護回路がはたらくことがあります。

■ 必ず本機の底面を下にして設置してください

■ 本機を 3 台以上積み重ねないでください

天面や側面を下にして設置したり、3 台以上積み重ねて設置したりすると、部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因となる場合があります。

■ 静電気が多く発生するような場所では、できるだけ本機を使用しないでください

静電気やノイズが多く発生するような場所で本機を使用する場合、有線 LAN での通信が切れやすくなります。まれに静電気やノイズにより LAN 接続ができなくなる場合がありますので、その場合は電源プラグをコンセントから抜き、問題となる静電気やノイズ源を取り除いたあとに電源プラグをコンセントに接続し直してください。

■ ご使用を終了した製品は速やかに撤去してください。

設置環境の不具合による製品の損傷などについては、保証期間中であってもパナソニック プロジェクター & ディスプレイ株式会社は責任を負いかねますのでご注意ください。

お客様または第三者が本機の取り扱いを誤った場合、静電気やノイズの影響を受けた場合など、本機に保存されているデータが変化したり消失したりする可能性がありますので、“ご使用になる前に” (10 ページ) の内容をよくお読みください。

セキュリティに関するお願い

本製品をご使用になる場合、次のような被害に遭うことが想定されます。

- 本製品を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- 悪意の第三者による本製品の不正操作
- 悪意の第三者による本製品の妨害や停止

セキュリティ対策を十分に行ってください。

- パスワードはできるだけ推測されにくいものにしてください。
- パスワードは定期的に変更してください。
- パナソニック プロジェクター & ディスプレイ株式会社が、お客様に対して直接パスワードを照会することはありません。直接問い合わせがあっても、パスワードを答えないでください。
- ファイアウォールなどの設定により、安全性が確保されたネットワークでご使用ください。

本機が対応するアプリケーションについて

本機は、次のアプリケーションソフトに対応しています。

- 複数台監視制御ソフトウェア (Multi Monitoring & Control Software)
- コンテンツマネージメントソフトウェア (Content Management Software for FMP series)
- 幾何学歪補正・設置調整ソフトウェア (Geometry Manager Pro for FMP series)
- Visual Software Suite

「複数台監視制御ソフトウェア」の詳細やダウンロードについては、次の Web サイトをご覧ください。

<https://connect.panasonic.com/jp-ja/projector>

「コンテンツマネージメントソフトウェア (Content Management Software for FMP series)」、 「幾何学歪補正・設置調整ソフトウェア (Geometry Manager Pro for FMP series)」、 「Visual Software Suite」の詳細やダウンロードについては、次の「パナソニック 業務用ディスプレイ / プロジェクター テクニカルサポートサイト」をご覧ください。

<https://connect.panasonic.com/jp-ja/projector/pass>

なお、「パナソニック業務用ディスプレイ / プロジェクターテクニカルサポートサイト」から詳細を確認したりダウンロードしたりするには、PASS*1 へ会員登録いただいたうえでログインする必要があります。

*1 「PASS」とは、パナソニック業務用ディスプレイ / プロジェクターテクニカルサポートサイトの名称です。

保管について

本機を保管しておく場合は、乾燥した室内に保管してください。

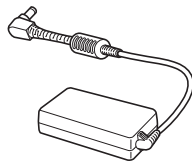
廃棄について

製品を廃棄する際は、最寄りの市町村窓口または販売店に、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

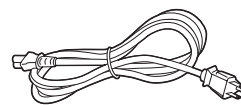
付属品の確認

次の付属品が入っていることを確認してください。＜ ＞は個数です。

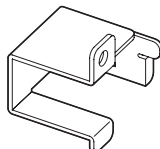
AC アダプター＜1＞
(CF-AA5713A)



電源コード＜1＞
(K2CG3YY00151)



AC アダプター抜け防止金具＜1＞
(DPMH2161ZA/X1)



ねじ (M3 × 6) ＜1＞
(XYN3+F8FJK)



お願い

- 電源コードキャップおよび包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理してください。
- 付属の AC アダプター・電源コードは、本機以外の機器では使用しないでください。
- 付属品を紛失してしまった場合、販売店にご相談ください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かない所に適切に保管してください。

お知らせ

- 付属品の品番は、予告なく変更する可能性があります。

別売品

別売品（品名）	品番	用途
ラック取付キット	ET-PKFMJ1	本機 1 台をラックに取り付ける場合に使用します。
ラック取付キット	ET-PKFMJ2	本機 2 台を横に連結してラックに取り付ける場合に使用します。

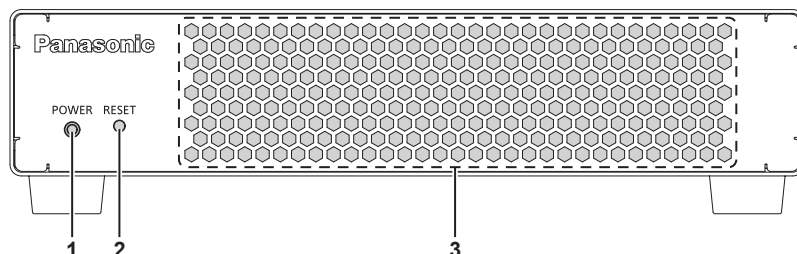
お知らせ

- 別売品の品番は、予告なく変更する可能性があります。

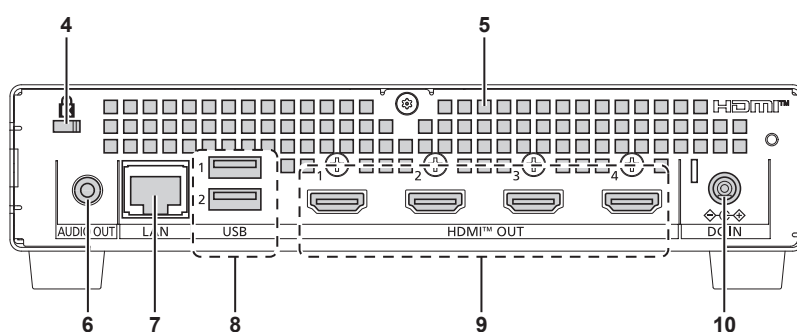
各部の名称とはたらき

本体

■ 前面

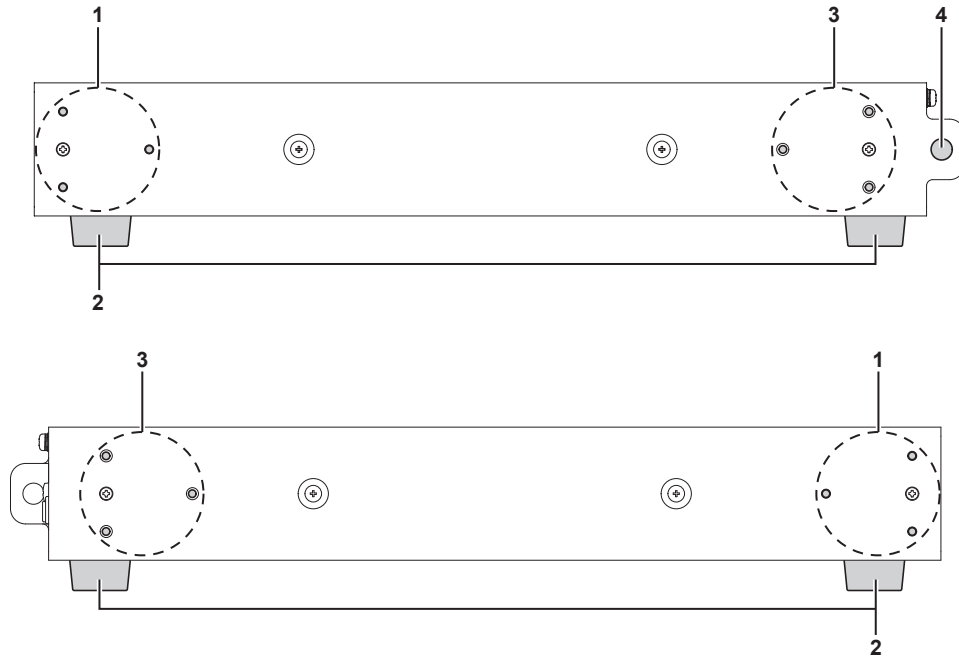


■ 後面



- | | |
|--|--|
| <p>1 電源インジケータ 〈POWER〉
本機の状態を表示します。</p> <p>2 〈RESET〉 ボタン
ネットワーク設定を初期化するボタンです。
長押しすると、[システム] メニュー→ [ネットワーク] ページの設定内容を初期化したうえで再起動します。</p> <p>3 吸気口</p> <p>4 セキュリティスロット
このセキュリティスロットは、Kensington 社製セキュリティケーブルに対応しています。</p> <p>5 排気口</p> | <p>6 〈AUDIO OUT〉 端子
音声信号を出力する端子です。</p> <p>7 〈LAN〉 端子
ネットワークに接続する端子です。</p> <p>8 〈USB〉 端子
本機では使用しません。</p> <p>9 〈HDMI OUT 1〉 端子 / 〈HDMI OUT 2〉 端子 / 〈HDMI OUT 3〉 端子 / 〈HDMI OUT 4〉 端子
HDMI 信号を出力する端子です。</p> <p>10 〈DC IN〉 端子
付属の AC アダプターを接続します。</p> |
|--|--|

■側面



1 ラックマウント金具取付位置

ラックに取り付ける場合に、この 3 つのねじ穴を使用します。
( 17 ページ)
本機を左右に 2 台連結する場合にも使用します。( 18
ページ)

2 ゴム脚

3 連結アングル取付位置

本機を左右に 2 台連結する場合に、この 3 つのねじ穴を使用
します。( 18 ページ)

4 ワイヤー取付穴

市販の落下防止用のワイヤーを取り付ける穴です。( 21
ページ)
盗難防止用のワイヤーや南京錠などを取り付けることもできま
す。

お願い

- 本機に直接接続する LAN ケーブルは、屋内だけで配線してください。

第 2 章 準備

設置や接続など、ご使用前に行っていただく内容について説明しています。

設置する

設置の前に

- 設置の際は、AC アダプターや外部機器の接続を外した状態で行ってください。
- 本機に接続するケーブルや付属の AC アダプターは、必ずラックやトラスなどに固定し、ケーブルや AC アダプターの質量が本体に直接かからないようにしてください。
- 本機の吸気口 / 排気口をふさいだり、吸排気を妨げたりするような状態で使用しないでください。

使用可能なコンセント

本機を使用する場合は、100 V/15 A に対応した接地コンセントが必要になります。次のイラストは、使用可能なコンセントの形状例です。



2 極（設置形）15 A 125V

お願い

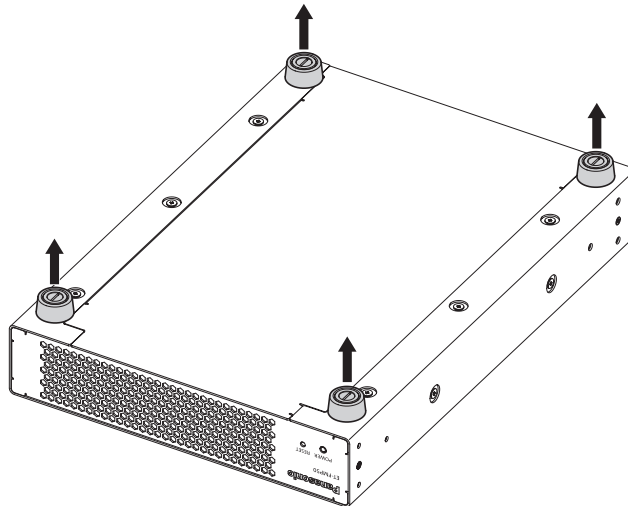
- 付属の電源コードを使い、コンセント側でアースを取ってください。
- 変換プラグを使用せず、電源プラグを直接コンセントに接続してください。変換プラグを使用すると、電源プラグの差し込みが不完全になり、発熱による火災の原因になることがあります。

ラックに取り付ける場合

本機は、ANSI/EIA-310-D 規格に準拠したラックに取り付けることができます。

ゴム脚を取り外す

1U (44.45 mm) の高さの段に取り付ける場合は、M3 のマイナスドライバーで本機底面のゴム脚（4 か所）のねじを反時計方向に回して緩め、ゴム脚を取り外してください。



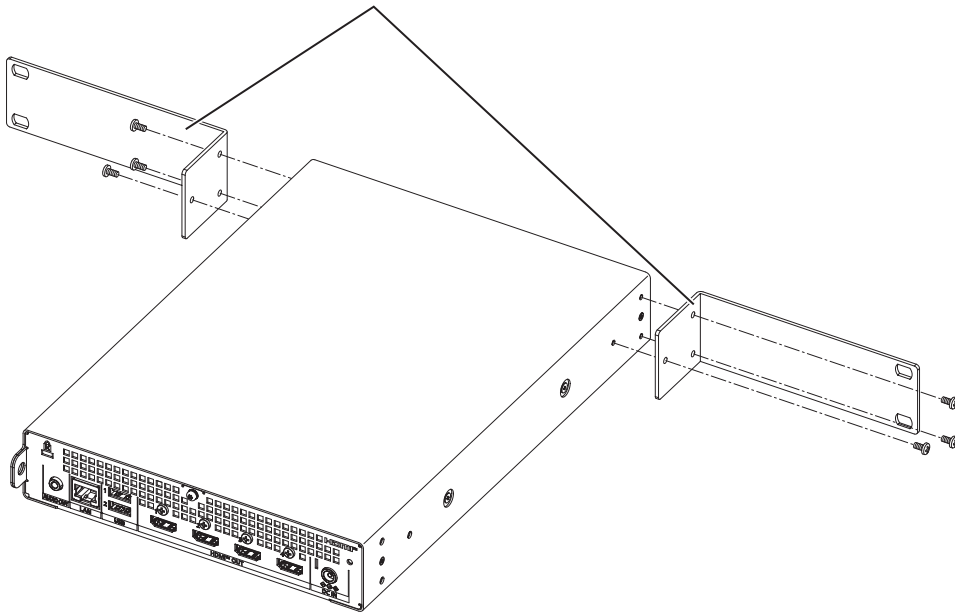
お願い

- 本機を裏返すときは、落下・転倒させないように取り扱いにご注意ください。
- 取り外したゴム脚は、なくさないように適切に保管してください。

本機を 1 台取り付ける

本機 1 台をラックに取り付ける場合は、別売品のラック取付キット（品番：ET-PKFMJ1）を使用します。

ラックマウント金具



1) ラックマウント金具を取り付ける

- ラック取付キット（品番：ET-PKFMJ1）のラックマウント金具を、本機の左右側面のラックマウント金具取付位置に取り付けてください。
- ラック取付キット（品番：ET-PKFMJ1）に付属のねじ（M3 × 6）6 本を使用して、プラスドライバーでしっかりと固定してください。

2) 本機をラックに取り付ける

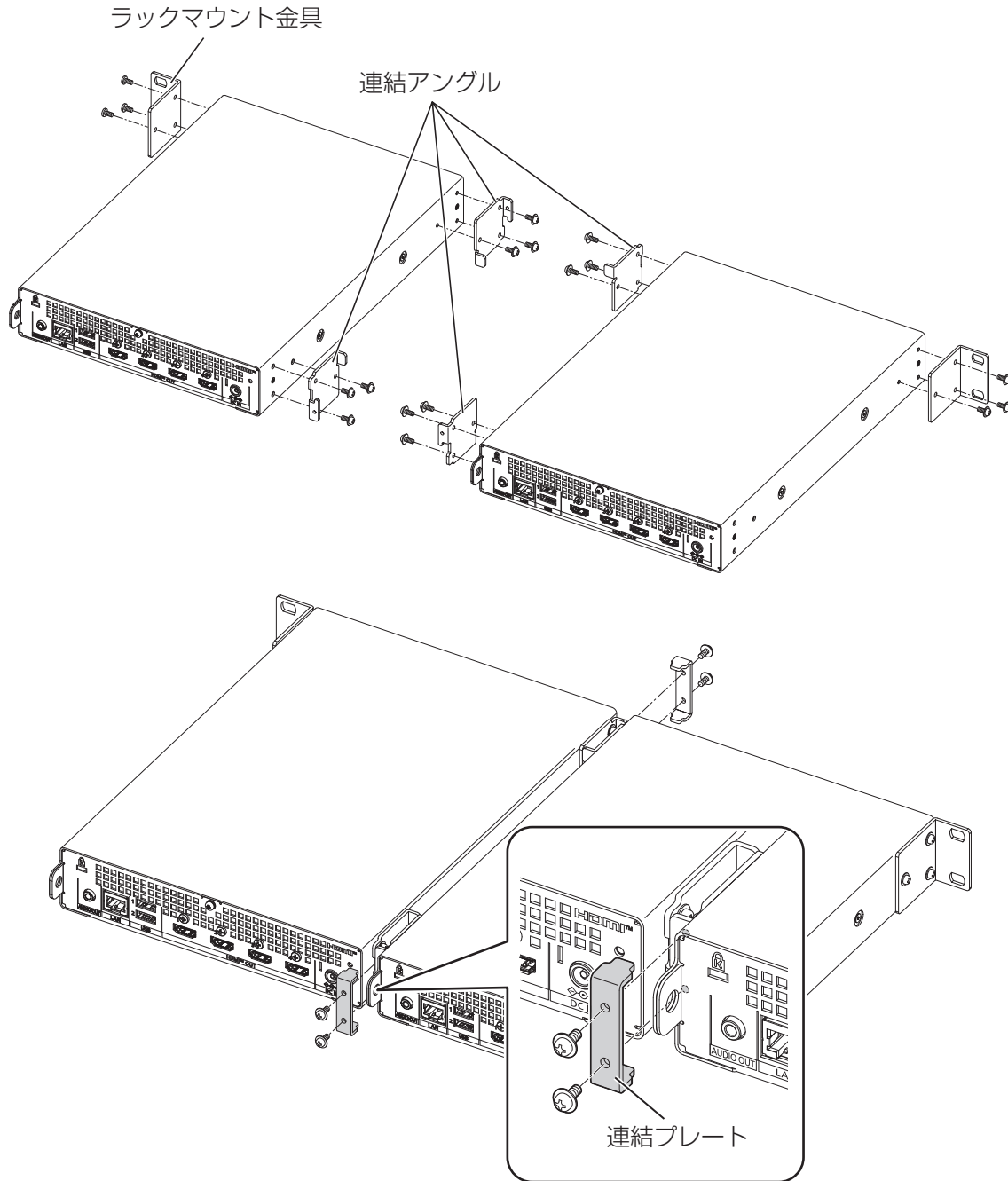
- ラック指定の方法で本機をラックに取り付けてください。
- ラックへの固定は、ラックに付属またはラック指定のラック取付ねじ（4 本）で確実に行ってください。

お願い

- ラックへの取り付け作業時は、本機がすべり落ちないようにご注意ください。
- 本機を取り付けたラック内の温度は、40℃を超えないようにしてください。
- 本機は発熱量の多い機器（パワーアンプなど）よりも下側に設置するなど、できるだけ離して設置するようにしてください。やむをえず、発熱量の多い機器を上下に設置する場合は、1U（44.45 mm）以上の間隔を空けて設置してください。
- AC アダプターの放熱を妨げないように設置してください。

本機を 2 台取り付ける

本機 2 台を左右に連結した状態でラックに取り付ける場合は、別売品のラック取付キット（品番：ET-PKFMJ2）を使用します。



1) ラックマウント金具を取り付ける

- ラック取付キット（品番：ET-PKFMJ2）のラックマウント金具（1 個）を、本機の側面のラックマウント金具取付位置に取り付けてください。
- ラック取付キット（品番：ET-PKFMJ2）に付属のねじ（M3 × 6）3 本を使用して、プラスドライバーでしっかりと固定してください。

2) 連結アングルを取り付ける

- ラック取付キット（品番：ET-PKFMJ2）の連結アングル（2 個）を、手順 1) でラックマウント金具を取り付けた側と反対の側面のラックマウント金具取付位置と連結アングル取付位置に取り付けてください。
- ラック取付キット（品番：ET-PKFMJ2）に付属のねじ（M3 × 6）6 本を使用して、プラスドライバーでしっかりと固定してください。

3) 2 台目に金具を取り付ける

- 1 台目と同様に、ラックマウント金具（1 個）と連結アングル（2 個）を、それぞれ手順 1)、手順 2) と反対側の側面に取り付けてください。
- ラック取付キット（品番：ET-PKFMJ2）に付属のねじ（M3 × 6）9 本を使用して、プラスドライバーでしっかりと固定してください。

4) 2 台を連結する

- 1 台目と 2 台目を左右に合わせて、組み合わさったお互いの連結アングル（2 か所）に連結プレート（2 個）を取り付けてください。
- ラック取付キット（品番：ET-PKFMJ2）に付属のねじ（M3 × 6）4 本を使用して、プラスドライバーでしっかりと固定してください。

5) ラックに取り付ける

- 連結した状態の 2 台を、ラック指定の方法でラックに取り付けてください。
- ラックへの固定は、ラックに付属またはラック指定のラック取付ねじ（4 本）で確実に行ってください。

お願い

- ラックへの取り付け作業時は、本機がすべり落ちないようにご注意ください。
- 本機を取り付けたラック内の温度は、40℃を超えないようにしてください。
- 本機は発熱量の多い機器（パワーアンプなど）よりも下側に設置するなど、できるだけ離して設置するようにしてください。やむをえず、発熱量の多い機器を上下に設置する場合は、1U（44.45 mm）以上の間隔を空けて設置してください。
- AC アダプターの放熱を妨げないように設置してください。
- 複数台の AC アダプターを 1 か所に束ねるなど、重ね合わせて固定しないでください。

高所に設置する場合

本機をトラスに取り付けるなど高所に設置する場合は、万一の落下による事故の発生を防ぐため、必ず次の落下防止の処置を行ってください。

- 本機を設置場所に固定する
- 本機に落下防止用のワイヤーを取り付ける
- AC アダプターを固定する

本機を設置場所に固定する手段や、落下防止用のワイヤーについては、次に示す事例を参考に、お客様ご自身でご準備をお願いいたします。

お願い

- 本機の左右側面のラックマウント金具取付位置へのねじの締めつけの際は、トルクドライバーを使用し、規定値内のトルクで締めつけてください。電動ドライバー、インパクトドライバーを使用しないでください。
（ねじの締めつけトルク：70 ± 0.5 N/m）
- 長期間設置する場合は、ねじの緩みや部品の外れなどがないか、定期的に点検をしてください。
- AC アダプターは、放熱を妨げないように固定してください。
- 複数台の AC アダプターを 1 か所に束ねるなど、重ね合わせて固定しないでください。

設置場所に固定する

本機を高所に設置する場合は、本機をトラスなどの設置場所に確実に固定してください。

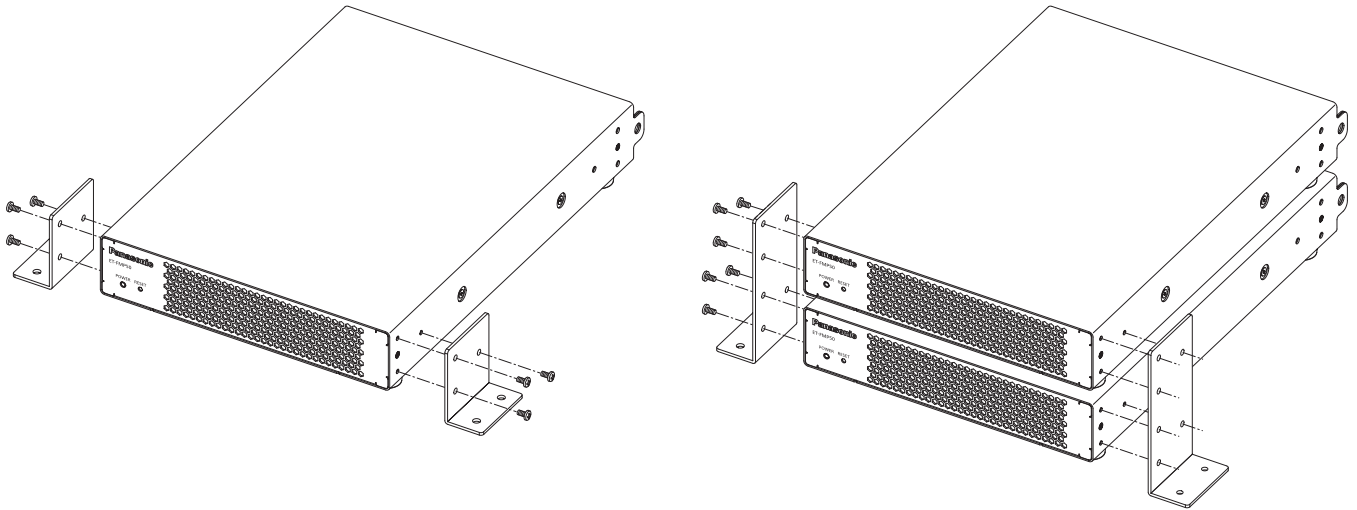
L 字型金具などを準備して本機を固定する場合、本機への金具の取り付けは次のようにしてください。

■ 金具（例）

本機に取り付ける L 字型金具、L 字型金具を本機に固定するねじは、お客様ご自身で準備してください。

L 字型金具	板厚	2 mm 以上
	数量	2 個
L 字型金具を本機に固定するねじ	サイズ呼称	M3
	長さ	本機側面からのねじの掛かり代が 3 mm 以上 6 mm 以下になるよう、L 字型金具の板厚を考慮して適切な長さのねじを選定してください。設置後のねじの緩みを防ぐため、座金組み込みねじなどの使用をお勧めします。
	数量	本機への L 字型金具の取り付け固定に、金具取付位置 1 か所当たり 3 本使用します。

■ 金具の取り付け方（例）



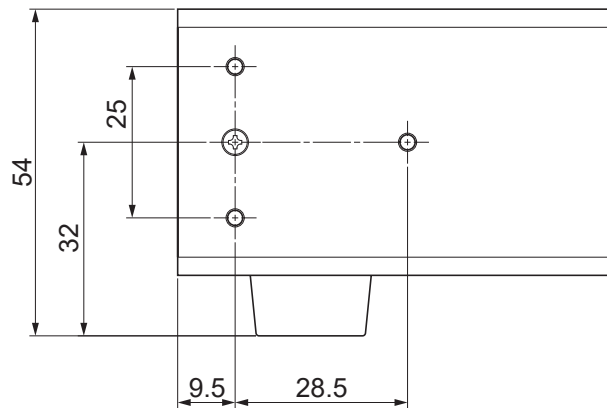
1) L 字型金具を取り付ける

- 準備した L 字型金具を、本機の左右側面のラックマウント金具取付位置に取り付けます。
- 準備した M3 ねじ（金具取付位置 1 か所当たり 3 本）を使用して、L 字型金具を本機にしっかりと固定してください。

■ ねじ穴の位置寸法

L 字型金具を取り付ける本機左右側面のラックマウント金具取付位置のねじ穴寸法は次のとおりです。

単位：mm



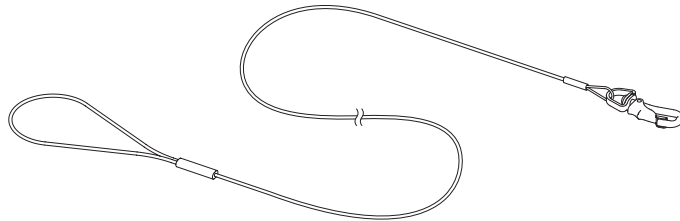
ワイヤーを取り付ける

本機をトラスに取り付けるなど、高所に設置する場合は、必ず市販の落下防止用のワイヤーを本機それぞれに取り付けてください。

■ 落下防止用ワイヤー

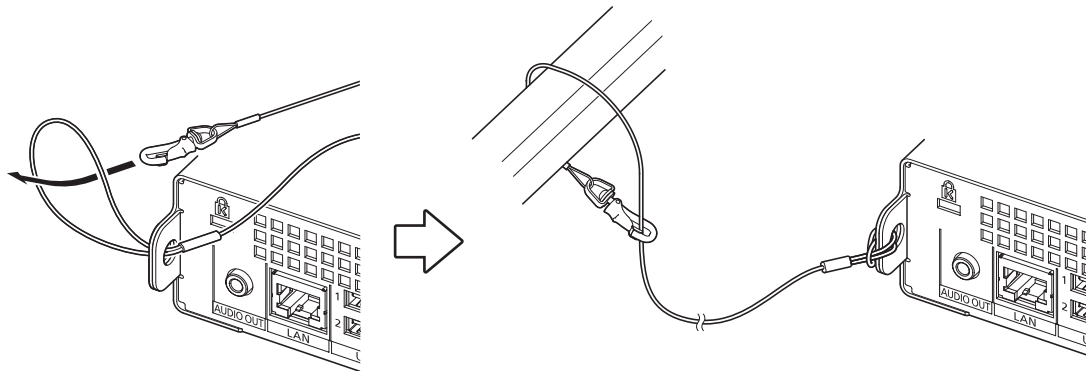
本製品（AC アダプターを含む）の落下に対応した落下防止用ワイヤーを、お客様ご自身で準備してください。

径	1.6 mm 以上 2.0 mm 以下	本機のワイヤー取付穴（直径 7.0 mm）に容易に通すことができるワイヤー径を選定してください。
長さ	600 mm 以下	万一落下した際に、本機などが人の頭や体に当たらないようにすることを考慮してください。



■ ワイヤーの取り付け（例）

落下防止用のワイヤーの一方を本機のワイヤー取付穴に、他方をトラスなどの頑丈な箇所に確実に取り付けてください。

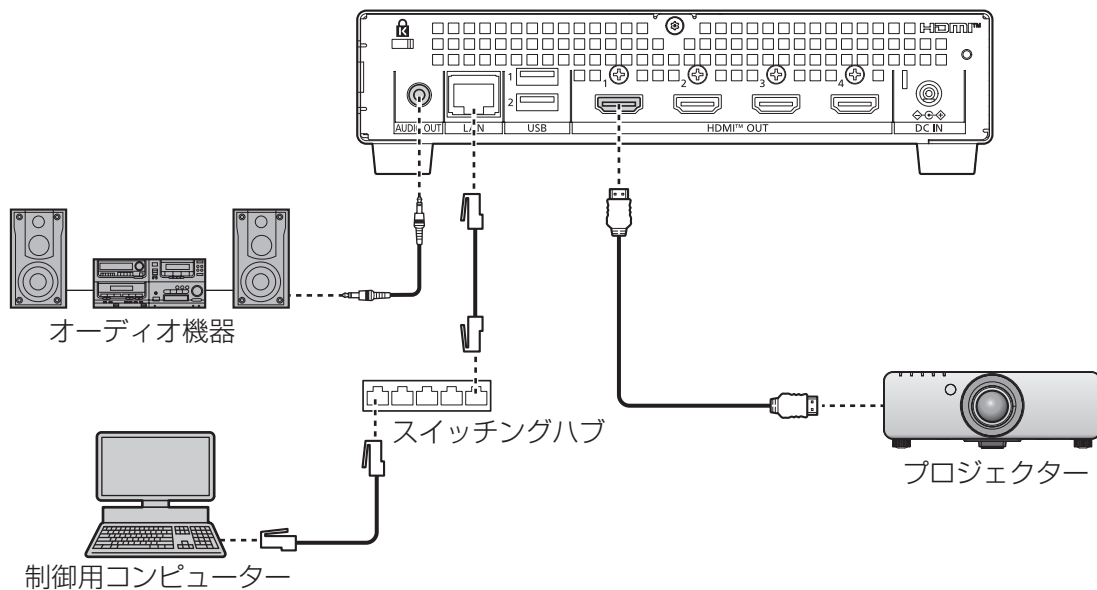


接続する

接続の前に

- 接続の前に、本機と接続する外部機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 各機器の電源を切ってからケーブルの接続をしてください。
- 次に示す内容に注意して、ケーブルを接続してください。行わない場合、故障の原因になります。
 - ケーブルを本機、あるいは本機と接続する外部機器に接続するときは、ケーブルを持つ前に周辺の金属に触れて身体の帯電を除去した状態で作業してください。
 - 本機と、本機に接続する機器とを接続するケーブルは、必要以上に長くしないでください。長くするほどノイズの影響を受けやすくなります。巻いた状態で使用するとアンテナになりますので、さらにノイズの影響を受けやすくなります。
 - ケーブル接続時は、GND が先に接続されるように、接続する機器の接続端子部にまっすぐに挿入してください。
- システム接続に必要な接続ケーブルは、各機器の付属品、別売品がない場合は接続される外部機器に合わせて準備してください。
- 接続するプロジェクターによっては、本機からの映像出力信号を表示できない場合があります。使用するプロジェクターの仕様、本機の Web 制御画面の [プレーヤー] メニュー → [設定] ページの設定をご確認ください。本機の設定については、“Web 制御機能を使用する” (P. 29 ページ) をご覧ください。

外部機器との接続 (例)



お願い

- プロジェクターやコンピューターなどの外部機器に接続する際、それぞれの機器に付属の電源コードと、シールドされた市販のケーブルを使用してください。

お知らせ

- HDMI ケーブルは、HDMI 規格に適合している HDMI High Speed ケーブルをご使用ください。ただし、3 840 x 2 160/60p、3 840 x 2 160/50p の 4K 映像信号を (HDMI OUT 1) 端子から出力する場合は、Premium HDMI ケーブルの認証を取得したものなど、18 Gbps の高速伝送に対応した HDMI ケーブルをご使用ください。使用している HDMI ケーブルの対応伝送速度を超える映像信号を入力した場合、映像が途切れる、映らないなど正常に動作しないことがあります。
- 本機はピエラリンク (HDMI) および HDMI CEC (Consumer Electronics Control) に対応していません。

第 3 章 基本的な使い方

まず使っていただくための操作方法について説明しています。

電源を入れる / 切る

本機には電源スイッチがありません。AC アダプターを本機に接続し、電源コードをコンセントに接続すると、本機が通電して動作を開始します。

使用を終了する場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。またはコンセントへの電源供給を止めてください。

本機の動作状態は、電源インジケーター〈POWER〉で確認できます。電源インジケーター〈POWER〉の表示について詳しくは、“電源インジケーターについて” (☞ 27 ページ) をご覧ください。

AC アダプターと電源コードの詳しい取り扱いについては、“安全上のご注意” (☞ 3 ページ) をご覧ください。

本機の設定については、“Web 制御機能を使用する” (☞ 29 ページ) をご覧ください。

お知らせ

- 本機は、電源を入れてから OS の起動を行います。OS の起動が完了するまで、約 1 分間は映像信号の出力やネットワーク機能の使用ができません。通電後、OS の起動が完了して本機が動作中になるまでお待ちください。
- 〈AUDIO OUT〉端子に音響システムを接続してご使用の場合、本機の電源を切 / 入したときに、外部の音響システムから雑音が聞こえることがあります。その場合は、音響システムの電源を切った状態で本機の電源を切 / 入してください。

AC アダプターを接続する

取り付け方

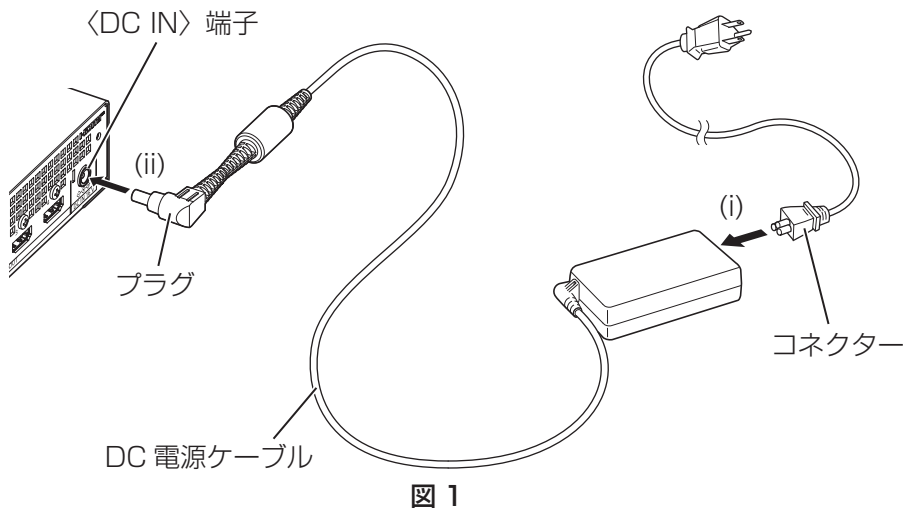


図 1

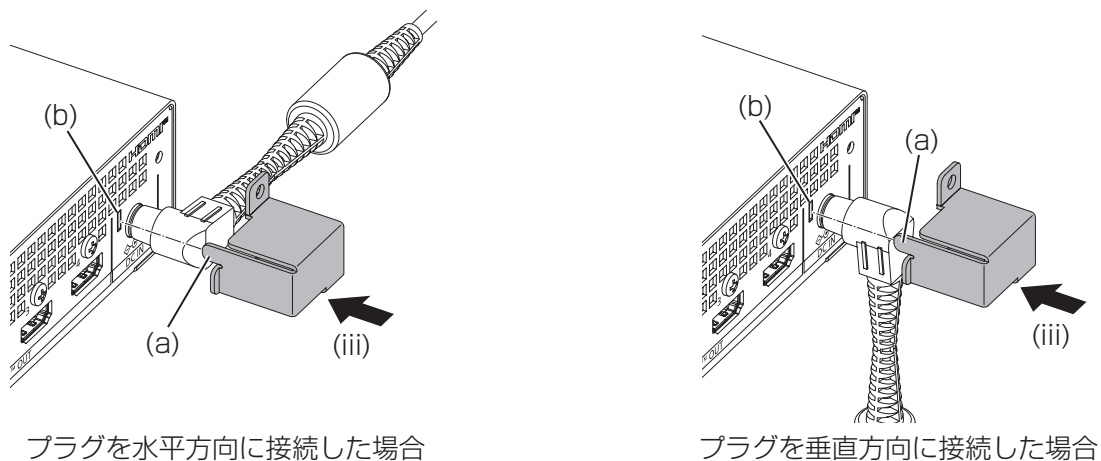


図 2

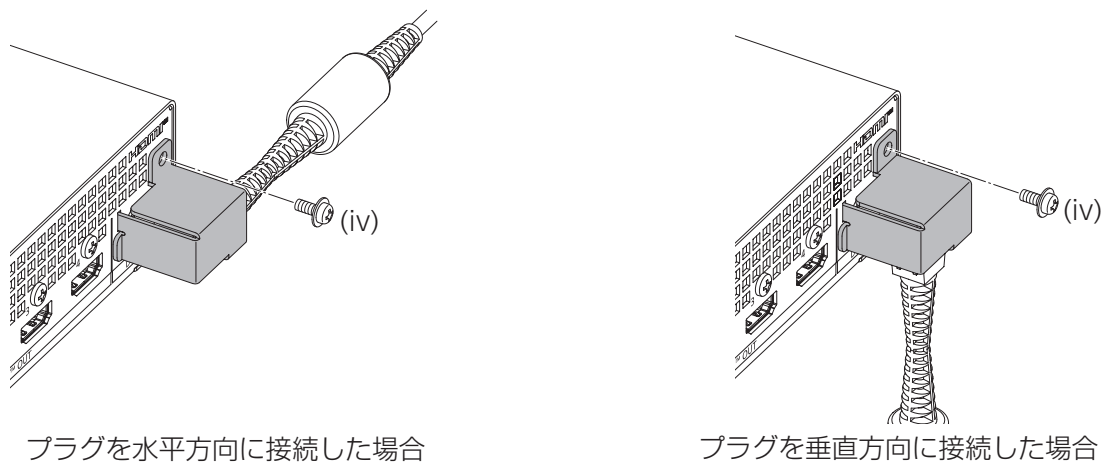


図 3

1) 電源コードと AC アダプターを接続する (図 1)

- AC アダプターに電源コードのコネクターをしっかりと奥まで差し込んでください。(i)
- 本機後面の〈DC IN〉端子に AC アダプターのプラグをしっかりと奥まで差し込んでください。(ii)

2) AC アダプター抜け防止金具を取り付ける (図 2)

- 付属の AC アダプター抜け防止金具の突起部 (a) を本機後面のスリット (b) に差し込みながら、AC アダプターのプラグを覆うように取り付けてください。(iii)
- 設置状況に応じて、DC 電源ケーブルが水平横方向または垂直下方向になるよう、AC アダプターのプラグを回してください。

3) AC アダプター抜け防止金具を固定する (図 3)

- 付属のねじ (M3 × 6) 1 本でしっかりと固定してください。(iv)

お願い

- AC アダプターのプラグを抜き差しするときは、必ず電源コードをコンセントから外した状態で行ってください。通電した状態でプラグを抜き差しすると、故障の原因になることがあります。
- 本機に接続したケーブルや付属の AC アダプターは、必ずラックやトラスなどに固定し、ケーブルや AC アダプターの質量が本体に直接かからないようにしてください。

取り外し方

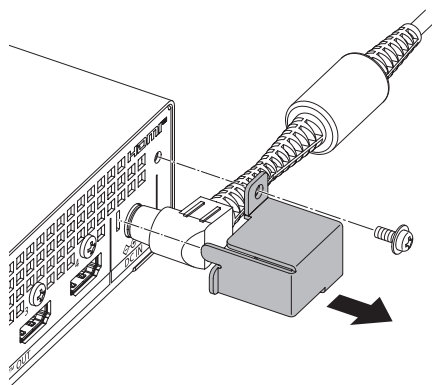


図 1

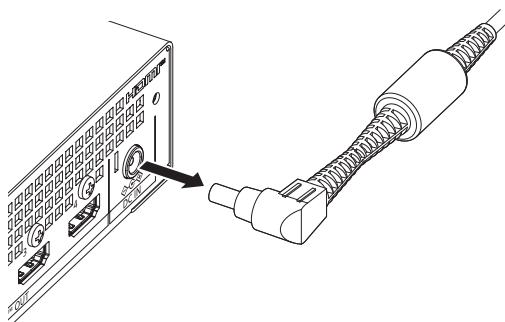


図 2

1) AC アダプター抜け防止金具を外す (図 1)

- AC アダプター抜け防止金具を固定しているねじを取り外し、AC アダプター抜け防止金具を外してください。

2) プラグを抜く (図 2)

- プラグを持って、〈DC IN〉端子から抜いてください。

お願い

- AC アダプターのプラグを抜き差しするときは、必ず電源コードをコンセントから外した状態で行ってください。通電した状態でプラグを抜き差しすると、故障の原因になることがあります。

電源インジケータについて

本機前面の電源インジケータ〈POWER〉で、本機の状態を確認できます。

点灯状況		本機の状態
消灯		AC アダプターの電源プラグがコンセントに接続されていません。または、コンセントへの通電が遮断されています。
緑色	点灯	動作中です。
	点滅	本機の設定を初期化しています。または、ファームウェアをアップデートしています。初期化またはアップデート完了後、本機は自動的に再起動します。
オレンジ色	点灯	起動中です。 しばらくすると、動作中（緑色点灯）になります。
赤色	点灯	警告が発生しています。
	点滅	エラーが発生しています。

お知らせ

- 本機は、電源を入れてから OS の起動を行います。OS の起動が完了して本機が動作中の状態になるまでの約 1 分間、電源インジケータ〈POWER〉はオレンジ色の点灯状態となります。
- エラー / 警告の内容は、Web 制御画面の [ステータス] メニュー→ [ステータス] ページ (🔍 35 ページ) に表示される [エラー / 警告] の記号を基に確認できます。[エラー / 警告] の記号の内容とその対処方法については、“自己診断表示について” (🔍 61 ページ) をご覧ください。
- Web 制御画面の [システム] メニュー→ [詳細] ページ (🔍 51 ページ) の [モード] と [通知] の設定によっては、電源インジケータ〈POWER〉が点灯・点滅しません。

第 4 章 設定と操作

本機の設定や機能の使い方について説明しています。

Web 制御機能を使用する

本機はネットワーク機能を備えており、コンピューターから本機にアクセスすることで、次のようなことができます。

- 本機の設定
- 本機の状態表示
- 再生機能の設定と操作
- ファームウェアのアップデート

再生機能を使用する場合は、次の項目も合わせてご覧ください。

- “再生機能を使用する” (👉 56 ページ)

お知らせ

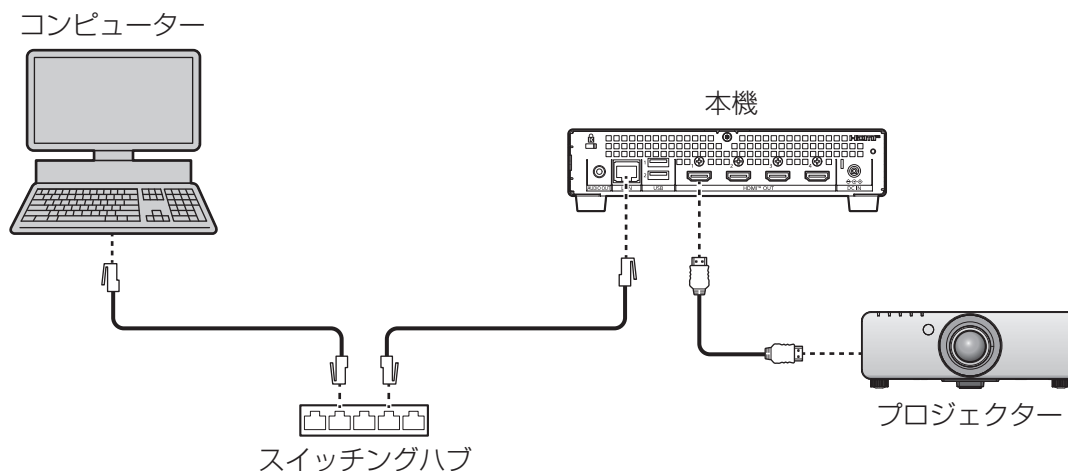
- 本機のネットワーク機能を使用するには、アカウント（ユーザー名とパスワード）を設定する必要があります。(👉 31 ページ)
アカウントを設定していない場合、本機のネットワーク機能は使用できません。
なお、本機のアカウントには管理者権限アカウント、標準ユーザーアカウントの区分がありません。設定されたアカウントは管理者権限アカウントとして使用できます。

使用できるコンピューター

Web 制御機能を使用するには、Web ブラウザーが必要です。あらかじめ Web ブラウザーが使用できることを確認してください。

OS	対応ブラウザ
Windows	Microsoft Edge
Mac OS	Safari 18.0 / 26.0

接続例



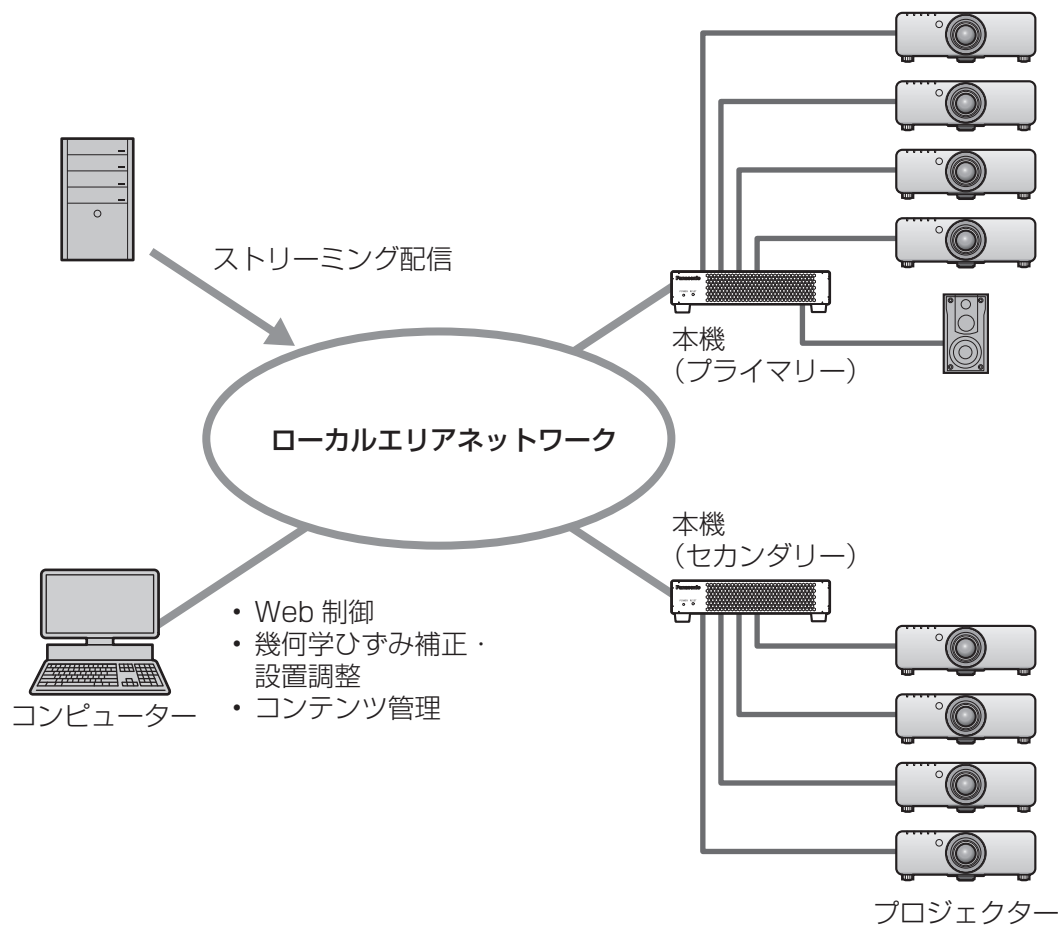
お願い

- 本機に直接接続する LAN ケーブルは、屋内だけで配線してください。

お知らせ

- ネットワーク機能を使用する場合は、LAN ケーブルが必要です。
- LAN ケーブルはストレートまたはクロス結線で、CAT5e 以上対応のものをご使用ください。システムの構成によってストレート / クロスのいずれか、または両方のケーブルを使用可能かが異なりますので、ネットワーク管理者にご確認ください。本機については、ケーブルの種類（ストレート / クロス）を自動的に判別します。
- LAN ケーブル長は 100 m 以下のものをご使用ください。

■ 運用イメージ



設定する

本機にはあらかじめネットワークの設定がされています。本機を初めて使用する場合は、本機のネットワーク設定を初期化した場合は、運用時に接続するネットワーク環境に合わせた設定に変更する必要があります。そのため、ネットワーク管理者からの指示に従って設定変更を行ってください。

また、本機を初めて使用する場合は、本機のすべてのユーザー設定データを初期化した場合はタイムゾーンが工場出荷時の設定になっているため、ご使用の場所に合わせてタイムゾーンを設定してください。さらに、本機を初めて使用する場合は、本機のネットワーク設定を初期化した場合はアカウントが設定されていない状態であるため、併せてアカウントを設定してください。

1) コンピューターと本機を LAN ケーブルで接続する

- 設定に使用するコンピューターと本機を、LAN ケーブルを介して接続してください。

2) コンピューターと本機の電源を入れる

3) コンピューターのネットワーク設定を行う

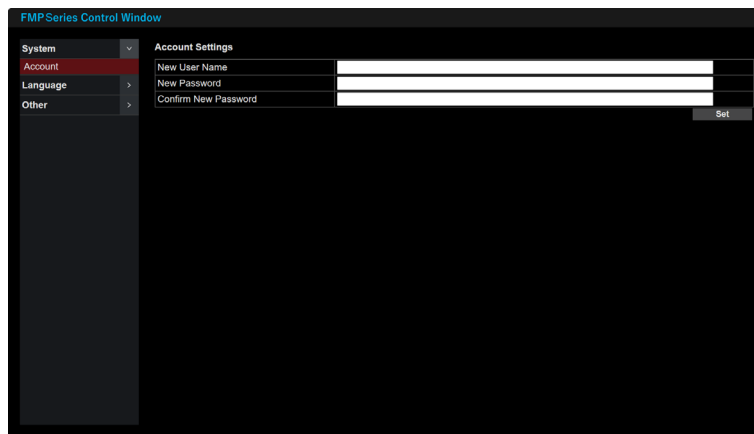
- 次のように設定すると、本機とのネットワーク接続が確立します。

[IP アドレス]	192.168.0.10
[サブネットマスク]	255.255.255.0
[デフォルトゲートウェイ]	192.168.0.1

4) コンピューターの Web ブラウザーを起動する

5) Web ブラウザーから本機にアクセスする

- Web ブラウザーの URL 入力欄に、あらかじめ本機に設定されている IP アドレス（192.168.0.8）を入力してから Enter キーを押してください。
- Web 制御画面の [Account] ページが表示されます。



6) [New User Name] にユーザー名を入力する

- アカウントとして使用するユーザー名を入力してください。
- 設定できるユーザー名は半角で 16 文字までです。

7) [New Password] にパスワードを入力する

- アカウントに設定するパスワードを入力してください。
- パスワードをブランクに設定することはできません。
- 設定できるパスワードは半角で 16 文字までです。
- パスワードには、次の 4 つの文字の種類のうち少なくとも 3 つを含めることを推奨します。
 - アルファベット大文字
 - アルファベット小文字
 - 数字
 - 特殊記号（~!@#\$%^&*()_+~\|}{[<>.,/?'）

8) [Confirm New Password] にパスワードを入力する

- 手順 7) で入力したパスワードを入力してください。

9) [Set] をクリックする

- アカウントの設定が完了します。
- ユーザー名とパスワードを入力するログイン画面が表示されます。

- ログイン画面が、すでに開いている他のウィンドウに隠れている場合があります。この場合は、手前にあるウィンドウを最小化してログイン画面を表示させてください。

このサイトにアクセスするにはサインインしてください

http://192.168.0.8 では認証が必要となります
このサイトへの接続は安全ではありません

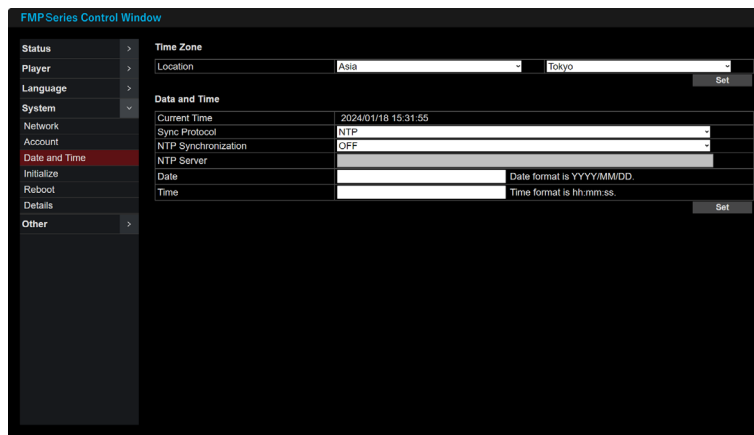
ユーザー名

パスワード

10) アカウントのユーザー名とパスワードを入力する

11) [サインイン] または [OK] をクリックする

- Web 制御画面の [Date and Time] ページが表示されます。



12) タイムゾーンの設定を変更する

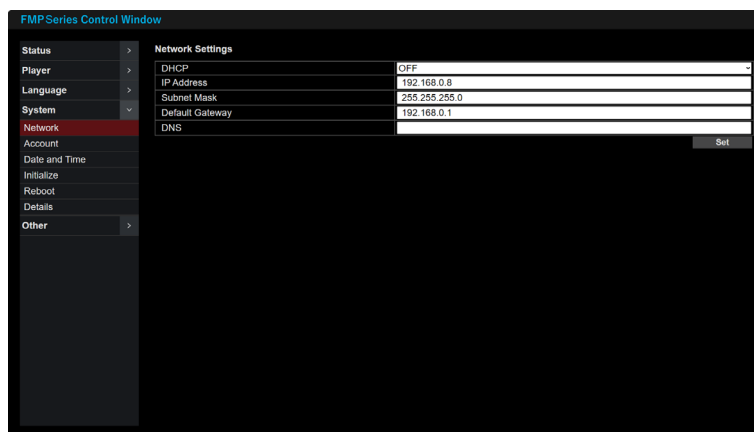
- ご使用の場所に合わせて [Location] の地域および都市を選択してください。
- Web 制御画面の操作について詳しくは、“Web ブラウザーからアクセスする” (🔗 33 ページ) をご覧ください。

13) [Set] をクリックする

- タイムゾーンの設定が反映されます。

14) [System] メニュー→ [Network] をクリックする

- [Network] ページが表示されます。



15) ネットワークの設定を変更する

- 各項目を、運用時に接続するネットワーク環境に合わせた設定に変更してください。
- 工場出荷時、およびネットワーク設定を初期化した場合は次の設定になります。

[DHCP]	OFF
[IP Address]	192.168.0.8
[Subnet Mask]	255.255.255.0
[Default Gateway]	192.168.0.1
[DNS]	なし

16) [Set] をクリックする

- クリックすると確認画面が表示されるので [OK] を選択してください。
- 入力したネットワークの設定が反映されます。
- 工場出荷時の設定から変更した場合は、設定に使用したコンピューターとの接続が切れます。必要に応じて、コンピューターのネットワークの設定を変更してください。

お知らせ

- 本機のアカウントには管理者権限アカウント、標準ユーザーアカウントの区分がありません。設定されたアカウントは管理者権限アカウントとして使用できます。
- 本機を初めて使用する場合や、本機のネットワーク設定を初期化した場合、Web 制御画面は英語で表示されます。[Language] メニュー → [Language] ページで日本語に切り換えることができます。

Web ブラウザーからアクセスする

ここからは、Web 制御画面の [言語] メニュー → [言語設定 (Language)] ページ (👁 44 ページ) で表示言語を [日本語] に設定していることを前提とした説明を行います。

1) コンピューターの Web ブラウザーを起動する**2) Web ブラウザーから本機にアクセスする**

- Web ブラウザーの URL 入力欄に、本機に設定されている IP アドレスを入力してください。
- ユーザー名とパスワードを入力するログイン画面が表示されます。

このサイトにアクセスするにはサインインしてください

http://192.168.0.8 では認証が必要となります
このサイトへの接続は安全ではありません

ユーザー名

パスワード

3) アカウントのユーザー名とパスワードを入力する**4) [サインイン] または [OK] をクリックする**

- Web 制御画面の [ステータス] ページが表示されます。



お願い

- ログイン画面が、すでに開いている他のウィンドウの下に隠れている場合があります。この場合は、手前にあるウィンドウを最小化してログイン画面を表示させてください。

お知らせ

- Web ブラウザーを同時に複数立ち上げて設定や操作をすることは避けてください。また、複数台のコンピューターから本機に対して同時に設定や操作をすることも避けてください。
- 本機の設定ページには、Web ブラウザーの JavaScript 機能を利用している項目があります。Web ブラウザーがこの機能を使用していない設定になっている場合には、正常にコントロールできないことがあります。
- Web 制御画面が表示されない場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
- Web 制御画面の表示の更新時に、画面が一瞬白くなることがありますが、故障ではありません。
- コンピューターの画面イラストについて
お客様がお使いの OS や Web ブラウザー、コンピューターの種類によって、画面の大きさや表示が本書に掲載されている画面例と異なることがあります。

各項目の説明



1 ページ切り換えメニュー

表示するページを選択するためのアコーディオン式のメニューです。上位のメニュー項目をクリックすることで、隠れている下位のメニュー項目を表示できます。もう一度上位のメニュー項目をクリックすると、下位のメニュー項目が非表示になります。

2 【ステータス】

本機の情報や状態を表示するメニュー項目が表示されます。(👉 35 ページ)

3 【プレーヤー】

再生機能の設定や、オーディオ制御、ストリーミングコンテンツの操作を行うメニュー項目が表示されます。(👉 37 ページ)

4 【言語 (Language)】

表示言語を選択するメニュー項目を表示します。(👉 44 ページ)

5 【システム】

ネットワークの設定や、アカウント情報の変更、日時の設定、設定の初期化、本機の再起動操作、本機の詳細設定を行うメニュー項目が表示されます。(👉 45 ページ)

6 【その他】

次の操作を行うメニュー項目が表示されます。
ファームウェアのアップデート (👉 52 ページ)
オープンソースソフトウェアライセンスのダウンロード (👉 53 ページ)
エラー / 警告発生ログのダウンロード (👉 54 ページ)
設定情報のエクスポート / インポート (👉 55 ページ)

【ステータス】について

【ステータス】 ページ

本機の情報や状態を表示します。

【ステータス】メニュー→【ステータス】をクリックします。



■【再生情報】

【プレーヤー】を【Schedule】または【Timeline】に設定している場合



【プレーヤー】を【NDI(NDI Decoder)】に設定している場合



1 【再生情報】

再生中のコンテンツの情報を表示します。【プレーヤー】メニュー→【設定】→【プレーヤー】(🔍 37 ページ) の設定によって表示される情報が異なります。

2 【製品品番】

本機の製品品番が表示されます。

3 【稼働時間】

本機の稼働時間が表示されます。コンテンツを再生していなくても時間が経過します。

4 【ストレージ残容量】

本機内蔵のストレージの空き容量を表示します。

5 【ファームウェアバージョン】

本機のファームウェアバージョンを表示します。

6 【シリアル番号】

本機のシリアル番号が表示されます。

7 【エラー / 警告】

本機内部にエラーや警告が発生すると、その内容が記号で表示されます。内容の詳細については、「自己診断表示について」(🔍 61 ページ) をご覧ください。

8 【コンテンツ】

再生中のコンテンツ名を表示します。再生が停止している場合には、「—」と表示されます。

9 【出力信号情報】

再生中のコンテンツの信号フォーマットを表示します。再生が停止中、または信号が途絶えている場合には、「—」と表示されます。

10 【ステータス】

再生中のコンテンツのステータスを表示します。

11 【NDI 入力信号情報】

ストリーミング再生中のコンテンツの信号フォーマットを表示します。再生が停止している場合には、「—」と表示されます。

お知らせ

- 【ステータス】ページの表示内容は、30 秒ごとに更新されます。

【スケジュール情報】 ページ

本機に保存されているスケジュールデータの内容を表示します。

[ステータス] メニュー→ [スケジュール情報] をクリックします。



- 1 **【スケジュール情報】**
スケジュールの設定内容を表示します。
- 2 **【タイムテーブル情報】**
スケジュールで使用しているタイムテーブルの情報を表示します。
- 3 **【プレイリスト情報】**
スケジュールで使用しているプレイリストの情報を表示します。
- 4 **【メディア情報】**
スケジュールで使用しているメディア（コンテンツ）の情報を表示します。
- 5 **【リロード】**
クリックすると、[スケジュール情報] ページに表示されている情報を更新します。

【プレーヤー】について

【設定】 ページ

再生機能の選択や出力方法などの設定を行います。
 【プレーヤー】メニュー→【設定】をクリックします。



- 1 **【プレーヤー】**
再生機能を選択します。
【Schedule】：スケジュール再生を行います。
【NDI(NDI Decoder)】：NDI に対応したストリーミングコンテナツの再生を行います。
【Timeline】：タイムライン再生を行います。
- 2 **【出力モード】**
再生映像の出力方法を選択します。
【1】：再生映像を〈HDMI OUT 1〉端子から出力します。
【4】：再生映像を〈HDMI OUT 1〉 / 〈HDMI OUT 2〉 / 〈HDMI OUT 3〉 / 〈HDMI OUT 4〉 端子から出力します。
- 3 **【映像信号】**
本機から出力する映像信号のフォーマットを選択します。
【オート】：本機に接続しているプロジェクターの EDID を読み取って信号フォーマットを自動的に選択します。
【3840x2160/60p】：3 840 x 2 160p 60 Hz で出力します。
【3840x2160/50p】：3 840 x 2 160p 50 Hz で出力します。
【1080/60p】：1 920 x 1 080p 60 Hz で出力します。
【1080/50p】：1 920 x 1 080p 50 Hz で出力します。
【3840x2160/60p】、**【3840x2160/50p】** は、**【出力モード】** を **【1】** に設定している場合に選択できます。
- 4 **【音声出力】**
音声信号の出力方法を選択します。
【HDMI OUT】：映像信号とともに〈HDMI OUT 1〉 / 〈HDMI OUT 2〉 / 〈HDMI OUT 3〉 / 〈HDMI OUT 4〉 端子から出力します。
【AUDIO OUT】：〈AUDIO OUT〉 端子から出力します。
【DANTE】：Audinate 社のオーディオネットワークプロトコル Dante® を用いて〈LAN〉 端子から出力します。
- 5 **【画面 1 IP アドレス】**
〈HDMI OUT 1〉端子に紐づけられる識別用の IP アドレスです。
【画面 2 IP アドレス】
〈HDMI OUT 2〉端子に紐づけられる識別用の IP アドレスです。
【画面 3 IP アドレス】
〈HDMI OUT 3〉端子に紐づけられる識別用の IP アドレスです。
【画面 4 IP アドレス】
〈HDMI OUT 4〉端子に紐づけられる識別用の IP アドレスです。
 再生映像をアプリケーションソフトで加工する場合は、それぞれの HDMI 出力端子に紐づけられた識別用の IP アドレスを使用します。
【画面 1 IP アドレス】、**【画面 2 IP アドレス】**、**【画面 3 IP アドレス】**、**【画面 4 IP アドレス】** は、**【出力モード】** を **【4】** に設定している場合に設定できます。
- 6 **【設定】**
【設定】 ページの設定内容を本機に反映します。

お知らせ

- スケジュール再生とは、本機内蔵のストレージに保存された静止画 / 動画コンテンツを、設定されたスケジュールに従って再生する機能です。コンテンツの登録やスケジュールの作成には、アプリケーションソフト「コンテンツマネージメントソフトウェア」(Content Management Software for FMP series) または「Visual Software Suite」を使用します。
スケジュール再生機能の使い方については、「再生機能を使用する」(56 ページ) をご覧ください。
- ストリーミング再生とは、同一ネットワーク上にあるコンテンツデータを取り込みながら再生する機能です。コンテンツの選択と再生操作は、「ストリーム一覧」ページ (40 ページ) で行います。
ストリーミング再生機能の使い方については、「再生機能を使用する」(56 ページ) をご覧ください。
- タイムライン再生とは、本機内蔵のストレージに保存されたプレイリストを、外部から本機に対して UDP (User Datagram Protocol) コマンドを送信することで再生制御する機能です。コンテンツの登録やプレイリストの作成には、「Visual Software Suite」を使用します。
タイムライン再生の使い方については、次の Web サイトをご覧ください。
<https://connect.panasonic.com/jp-ja/projector>
- 「コンテンツマネージメントソフトウェア (Content Management Software for FMP series)」、 「Visual Software Suite」のダウンロードについては、次の Web サイトの PASS にログインし、ソフトウェアのダウンロードページをご覧ください。
<https://connect.panasonic.com/jp-ja/projector/pass>
- [画面 1 IP アドレス]、[画面 2 IP アドレス]、[画面 3 IP アドレス]、[画面 4 IP アドレス] に入力する IP アドレスは、加工する画面の識別用に該当の HDMI 出力端子に対して付与したもので、〈HDMI OUT 1〉 / 〈HDMI OUT 2〉 / 〈HDMI OUT 3〉 / 〈HDMI OUT 4〉端子に接続しているプロジェクターに設定されている IP アドレスとは異なるものになります。
- [画面 1 IP アドレス]、[画面 2 IP アドレス]、[画面 3 IP アドレス]、[画面 4 IP アドレス] に入力する IP アドレスは、同一ネットワークに接続されているネットワーク機器の IP アドレスと重複しないようにしてください。
- [映像信号] を [オート] に設定している場合、本機に接続しているプロジェクターの EDID を読み取って次のいずれかの信号フォーマットで出力します。3840x2160/60p、3840x2160/50p は、[出力モード] を [1] に設定している場合に有効です。
 - 3840x2160/60p (3 840 x 2 160p 60 Hz)
 - 3840x2160/50p (3 840 x 2 160p 50 Hz)
 - 1080/60p (1 920 x 1 080p 60 Hz)
 - 1080/50p (1 920 x 1 080p 50 Hz)
- [出力モード] を [4] に設定している場合、〈HDMI OUT 1〉 / 〈HDMI OUT 2〉 / 〈HDMI OUT 3〉 / 〈HDMI OUT 4〉端子から出力される映像信号のフォーマットは共通です。[映像信号] を [オート] に設定している場合は、〈HDMI OUT 1〉端子から順番に接続されたプロジェクターの有無を検索し、最初に検出されたプロジェクターの EDID を読み取って自動的に信号フォーマットを選択します。
- 再生するコンテンツの解像度が、本機の出力解像度と異なる場合は、解像度を変換して出力されます。
- 再生に使用するコンテンツの音声コーデックは MPEG4 AAC-LC ですが、リニア PCM に変換して本機から出力されます。
- 「Visual Software Suite」の [オンラインプレビュー] → [メディアプロセッサ再生] の設定を有効にしているときに本ページの [設定] を実施すると、「Visual Software Suite」との同期が解除されます。
再度同期するには「Visual Software Suite」で設定を行ってください。

【オーディオ制御】 ページ

音声機能の設定を行います。

[プレーヤー] メニュー→ [オーディオ制御] をクリックします。



1 【音量 (HDMI OUT)】

〈HDMI OUT 1〉/〈HDMI OUT 2〉/〈HDMI OUT 3〉/〈HDMI OUT 4〉端子から出力する際の音量を、スライダーバーを使用して [0] ～ [100] の範囲で調整します。
[消音] にチェックを入れると音声出力を停止します。

2 【音量 (AUDIO OUT)】

〈AUDIO OUT〉端子から出力する際の音量を、スライダーバーを使用して [0] ～ [100] の範囲で調整します。
[消音] にチェックを入れると音声出力を停止します。

3 【音量 (DANTE OUT)】

〈LAN〉端子から出力する際の音量を、スライダーバーを使用して [0] ～ [100] の範囲で調整します。
[消音] にチェックを入れると音声出力を停止します。

4 【音声遅延時間】

〈AUDIO OUT〉端子から出力される音声映像表示のタイミングと合わない場合に、音声の遅延時間を [0] ms ～ [171] ms の範囲で設定できます。
工場出荷時の設定は [0] ms です。

5 【設定】

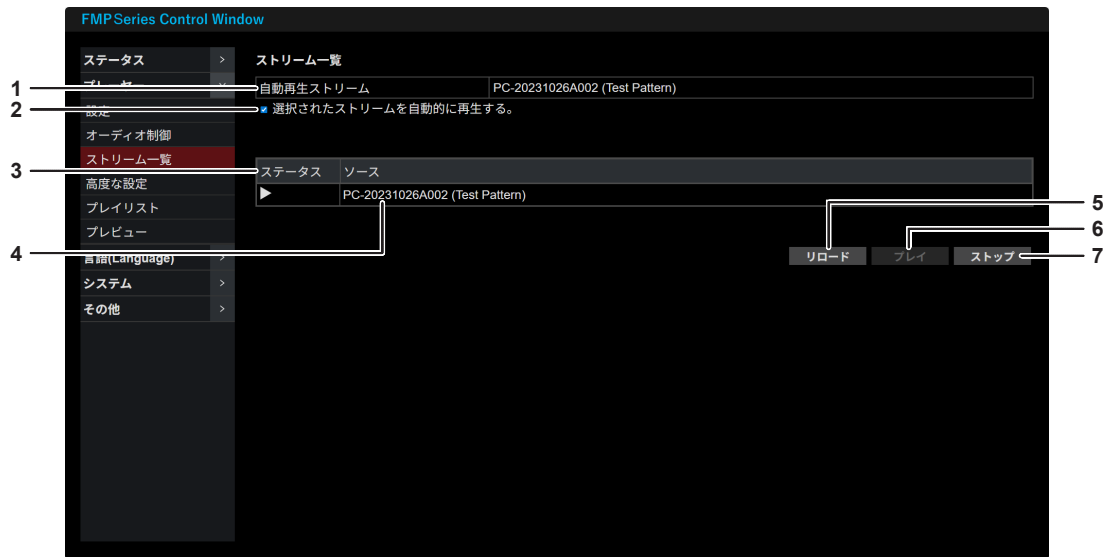
[オーディオ制御] ページの設定内容を本機に反映します。

【ストリーム一覧】 ページ

ストリーミング再生を行うコンテンツの操作を行います。

【プレーヤー】メニュー→【設定】ページ→【プレーヤー】を【NDI (NDI Decoder)】に設定している場合に操作できます。

【プレーヤー】メニュー→【ストリーム一覧】をクリックします。



1 【自動再生ストリーム】

【選択されたストリームを自動的に再生する。】にチェックを入れたときに、【ソース】のリストで選択中のデバイスのコンテンツが自動再生の対象として表示されます。チェックを外すとデバイスの表示が消えます。

2 【選択されたストリームを自動的に再生する。】

チェックを入れると、次回本機の電源を入れたあとに【自動再生ストリーム】に表示されているデバイスのコンテンツが自動的に再生を開始します。

また、チェックを入れていると、ストリーミング再生中に【プレーヤー】メニュー→【設定】ページで設定変更を行った場合でも、設定変更完了後に自動的に再生を再開します。チェックを外していると、再生は再開されません。

3 【ステータス】

再生状況を表示します。

■：停止中

▶：再生中

4 【ソース】

本機と同一のネットワーク上に検出されたソースがリスト表示されます。デバイス名やアプリケーション名、シリアル番号などからなる、ソースに依存したコードが最大 64 文字で表示されます。

5 【リロード】

クリックすると、ソースのリスト表示を更新します。

6 【プレイ】

クリックすると、選択中のデバイスのコンテンツを再生します。

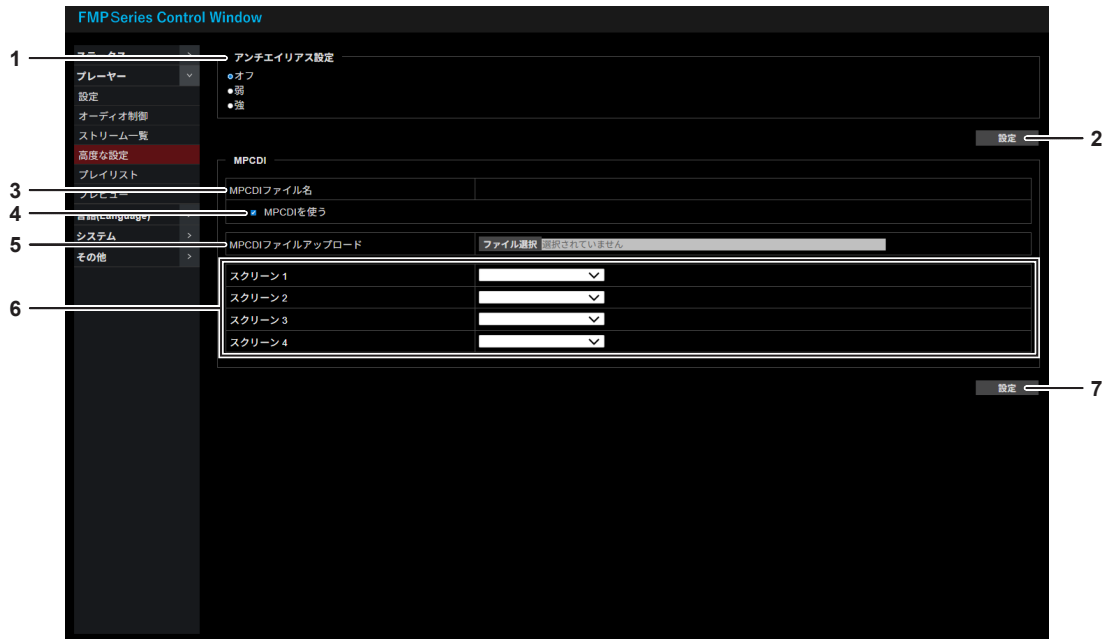
7 【ストップ】

クリックすると、再生を停止します。

【高度な設定】 ページ

本機に関する高度な設定を行います。

[プレーヤー] メニュー→ [高度な設定] をクリックします。



1 【アンチエイリアス設定】

アンチエイリアス処理の強度を設定します。アンチエイリアス処理を行うと、斜めの境界線に生じるジャギー現象を軽減し、より滑らかな表現を実現することができます。

【オフ】：アンチエイリアス処理を行いません。

【弱】：アンチエイリアス処理を軽く施します。

【強】：アンチエイリアス処理を強く施します。

2 【設定】

【アンチエイリアス設定】 の設定内容を本機に反映します。

3 【MPCDI ファイル名】

本機に読み込まれている MPCDI ファイル名を表示します。

4 【MPCDI を使う】

本機に読み込まれている MPCDI ファイルを使用する場合にチェックを入れます。
チェックを入れると、「Visual Software Suite」または「幾何学歪補正・設置調整ソフトウェア」（Geometry Manager Pro for FMP series）で設定した幾何歪補正やエッジブレンディング、黒レベル調整に関する設定データは無効になります。

5 【MPCDI ファイルアップロード】

【ファイル選択】 をクリックして、新たに本機に読み込む MPCDI ファイルを選択します。
【MPCDI を使う】にチェックが入っている場合に操作できます。

6 【スクリーン 1】

〈HDMI OUT 1〉 端子に紐づける MPCDI ファイルのリージョン ID です。

【スクリーン 2】

〈HDMI OUT 2〉 端子に紐づける MPCDI ファイルのリージョン ID です。

【スクリーン 3】

〈HDMI OUT 3〉 端子に紐づける MPCDI ファイルのリージョン ID です。

【スクリーン 4】

〈HDMI OUT 4〉 端子に紐づける MPCDI ファイルのリージョン ID です。

【スクリーン 2】、【スクリーン 3】、【スクリーン 4】 のリージョン ID は、【プレーヤー】メニュー→【設定】→【出力モード】（37 ページ）を【4】に設定している場合に設定できます。

7 【設定】

【MPCDI】 の設定内容を本機に反映します。

お知らせ

- ジャギー現象とは、デジタル画像やコンピュータグラフィックスにおいて、斜めの線やエッジ部分が段階的に表示され、鋸歯状の輪郭やざらついた見た目になる現象を指します。
- アンチエイリアス処理を施すことでジャギー現象が軽減し、滑らかな印象を与えることができますが、その一方で、文字や画像の繊細なディテールが失われ、ぼやけた印象を与える可能性があります。使用するコンテンツに応じて、適切な【アンチエイリアス設定】を選択してください。たとえば、細部のディテールを重視する場合は【オフ】を選択し、全体的な見た目を重視する場合は【弱】または【強】を選択することをお勧めします。
- 「幾何学歪補正・設置調整ソフトウェア」（Geometry Manager Pro for FMP series）または「Visual Software Suite」を起動しているコンピューターをネットワーク接続していると、本機の再生機能に影響を及ぼしてアンチエイリアス処理の効果が映像に反映されず、ジャギー現象が軽減されないことがあります。アンチエイリアス処理の強度を設定する際は、「幾何学歪補正・設置調整ソフトウェア」および「Visual Software Suite」を終了してください。
- MPCDI (Multiple Projection Common Data Interchange) とは、複数のプロジェクターから投影された映像を組み合わせ、シームレスな 1 つの映像を作成するための標準データフォーマットとプロトコルを定義した VESA の規格です。本機は MPCDI Version 2.0 の 2D Media profile、Geometry Warp Maps、Blend Maps (alpha map/beta map) に対応しています。

【プレイリスト】 ページ

プレイリストの再生制御を行います。

【プレーヤー】メニュー→【設定】ページ→【プレーヤー】を【Timeline】に設定している場合に操作できます。

【プレーヤー】メニュー→【プレイリスト】をクリックします。



1 【プレイリスト】

再生を行うプレイリストを選択します。

【設定】：選択中のプレイリストを【コントロールパネル】で再生制御する対象として登録します。

【同期設定】：チェックを入れると、同じローカルエリアネットワークにある機器にもプレイリストの設定が反映されます。

2 【コントロールパネル】

再生制御を行います。

🔄：再生ループの ON/OFF を設定します。

⏮️：再生中の先頭にスキップします。

⏮️15：15 秒前の位置から再生します。

▶️：再生を開始します。

⏸️：再生を停止します。

⏭️15：15 秒先の位置から再生します。

⏭️：プレイリスト内の次コンテンツにスキップします。

【同期設定】：チェックを入れると、同じローカルエリアネットワークにある機器にも再生制御を同期します。

3 【リロード】

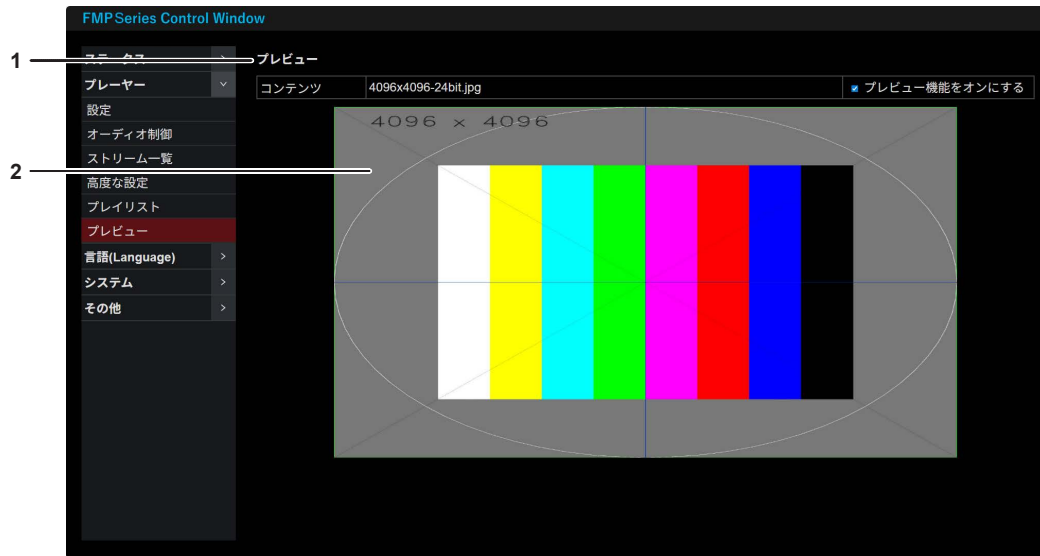
クリックすると、【プレイリスト】の内容を更新します。

お知らせ

- 【同期設定】は、チェックが入った機器同士で同期動作を行います。チェックが入ってない機器は同期せずに単独で動作します。
- 各機器に同じ名前のプレイリストが存在しない場合は、【同期設定】にチェックを入れても同期しません。
- 本機内蔵のストレージに保存されているプレイリストを更新した場合は、【リロード】をクリックして【プレイリスト】に変更を反映してください。

【プレビュー】ページ

本機からプロジェクターへ出力する映像を簡易的に表示します。
 [プレーヤー] メニュー→ [プレビュー] をクリックします。



- 1 **【プレビュー】**
 【コンテンツ】：再生中のコンテンツの情報を表示します。
 【プレビュー機能をオンにする】：チェックを入れると、プレビューエリアに映像が表示されます。

- 2 **プレビューエリア**
 本機からプロジェクターへ出力する映像を、1 秒間隔でキャプチャーしたものが表示されます。
 [プレーヤー] メニュー→ [設定] → [出力モード] を [4] に設定している場合、出力する 4 つの映像を 4 分割されたプレビューエリアにそれぞれ表示されます。

お知らせ

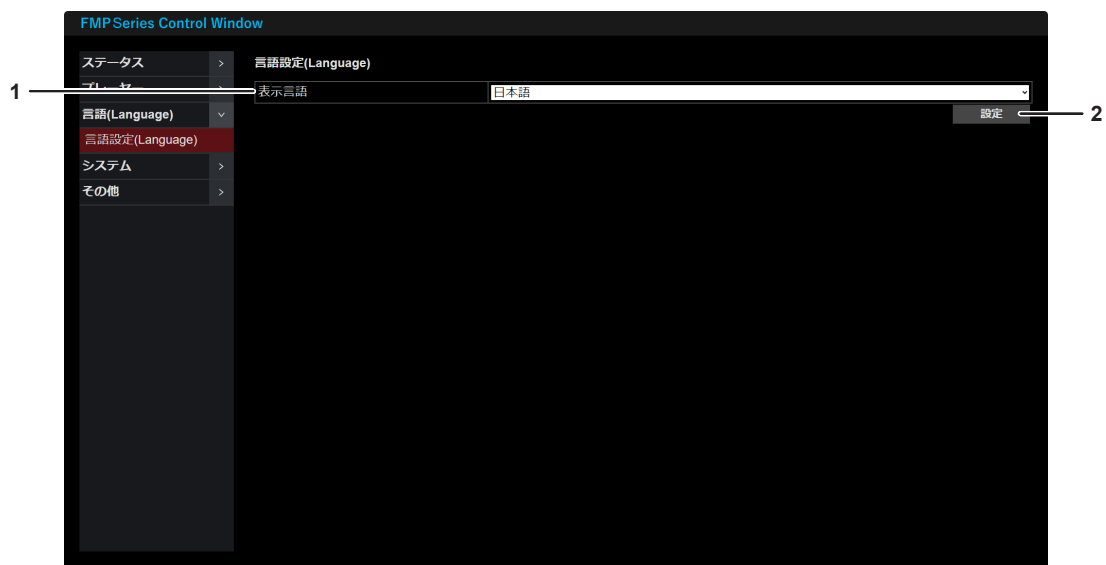
- 再生する動画によっては【プレビュー機能をオンにする】にチェックを入れた状態では、プロジェクターからの投写映像にフレームドロップが発生することがあります。その場合は、チェックを外してプレビューエリアに映像を表示しない状態でご使用ください。
 フレームドロップとは、動画再生中にフレームが欠落することで、映像がスムーズに再生されない現象を指します。

【言語 (Language)】 について

【言語設定 (Language)】 ページ

Web 制御画面の表示言語を選択します。

【言語 (Language)】 メニュー→【言語設定 (Language)】 をクリックします。



1 【表示言語】

Web 制御画面に表示する言語を選択します。

【英語 (English)】：英語で表示する場合に選択します。

【日本語】：日本語で表示する場合に選択します。

2 【設定】

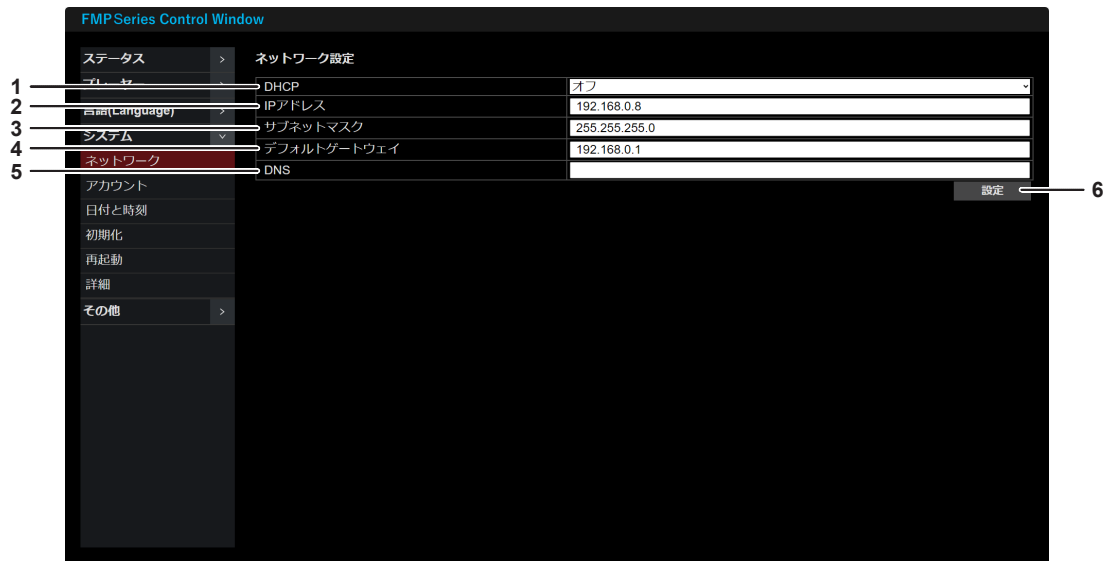
【表示言語】で選択した言語に Web 制御画面の表示が切り換わります。

[システム] について

[ネットワーク] ページ

有線 LAN を利用するための接続設定をします。

[システム] メニュー→ [ネットワーク] をクリックします。



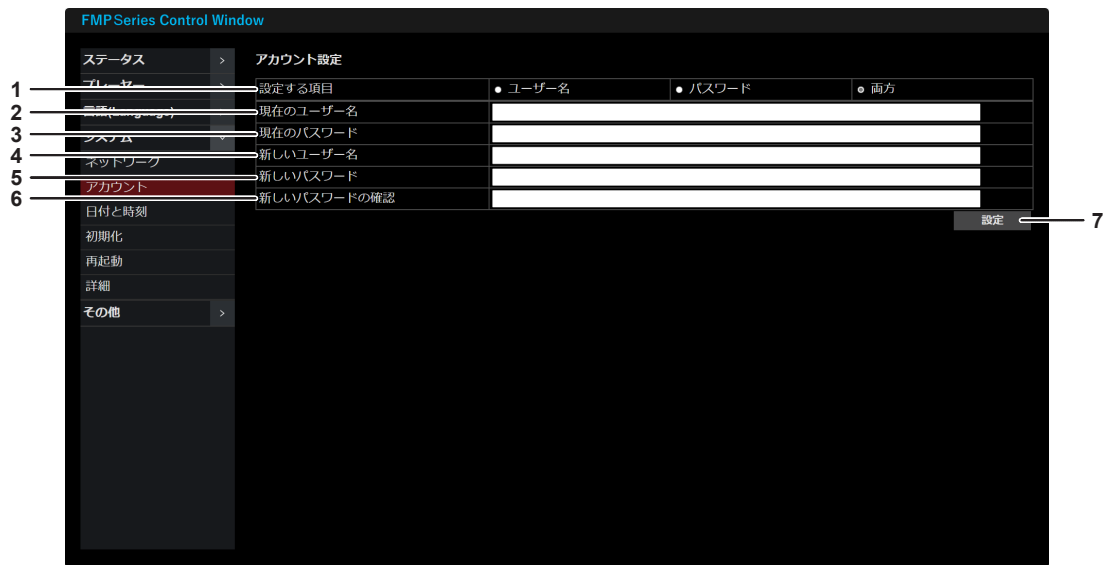
- 1 **[DHCP]**
【オン】：本機を接続するネットワークに存在する DHCP サーバーを利用して自動的に IP アドレスを取得する場合に選択します。
【オフ】：DHCP サーバーを利用しない場合に選択します。[IP アドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ]を設定してください。
- 2 **[IP アドレス]**
 DHCP サーバーを利用しない場合に、本機に手動で割り当てる IP アドレスを入力します。
- 3 **[サブネットマスク]**
 DHCP サーバーを利用しない場合にサブネットマスクを入力します。
- 4 **[デフォルトゲートウェイ]**
 DHCP サーバーを利用しない場合にデフォルトゲートウェイアドレスを入力します。
- 5 **[DNS]**
 DNS サーバーのアドレスを入力します。
 入力使用可能文字：数字 (0 ~ 9)、ピリオド (.)
- 6 **[設定]**
 クリックすると確認画面が表示されるので [OK] を選択してください。[ネットワーク] ページの設定内容を本機に反映します。

お知らせ

- DHCP サーバーを利用する場合、DHCP サーバーが立ち上がっていることを確認してください。
- IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 本機のネットワークの接続設定を変更すると、設定に使用しているコンピューターとの接続が切れる場合があります。

【アカウント】 ページ

本機にアクセスするためのアカウントを設定します。
 [システム] メニュー→【アカウント】 をクリックします。



- | | |
|---|---|
| <p>1 【設定する項目】
 設定を変更したい項目を選択します。
 【ユーザー名】：ユーザー名のみを変更する場合にチェックを入れます。
 【パスワード】：パスワードのみを変更する場合にチェックを入れます。
 【両方】：ユーザー名とパスワードを変更する場合にチェックを入れます。</p> <p>2 【現在のユーザー名】
 変更前のユーザー名を入力します。</p> | <p>3 【現在のパスワード】
 変更前のパスワードを入力します。</p> <p>4 【新しいユーザー名】
 変更後のユーザー名を入力します。（半角で 16 文字まで）</p> <p>5 【新しいパスワード】
 変更後のパスワードを入力します。（半角で 16 文字まで）</p> <p>6 【新しいパスワードの確認】
 変更後のパスワードを再度入力します。</p> <p>7 【設定】
 【アカウント】 ページの設定内容を本機に反映します。</p> |
|---|---|

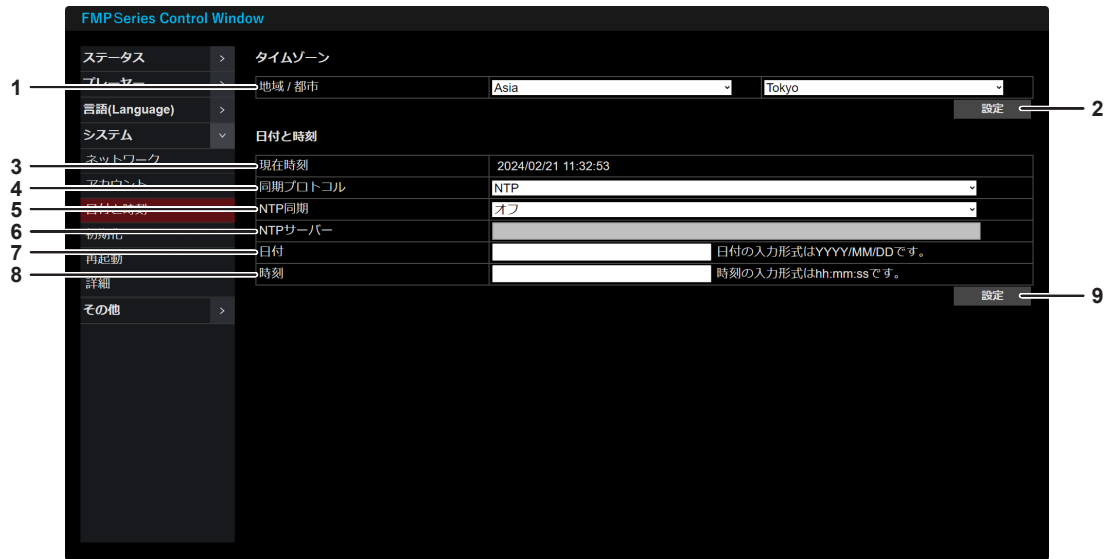
お知らせ

- パスワードには、次の 4 つの文字の種類のうち少なくとも 3 つを含めることを推奨します。
 - アルファベット大文字
 - アルファベット小文字
 - 数字
 - 特殊記号 (!@#\$%^&*()_+~|}{<>.,/?')
- 「複数台監視制御ソフトウェア」や「コンテンツマネージメントソフトウェア」、「幾何学歪補正・設置調整ソフトウェア」、「Visual Software Suite」など、LAN 経由の通信制御を使用したアプリケーションソフトに本機をすでに登録している場合、アカウントのユーザー名またはパスワードを変更すると、本機との通信ができなくなります。アカウントのユーザー名またはパスワードを変更した場合は、ご使用のアプリケーションソフトの登録情報を更新してください。

【日付と時刻】 ページ

本機内蔵時計のタイムゾーンと日時を設定します。

【システム】メニュー→【日付と時刻】をクリックします。



■【日付と時刻】

【同期プロトコル】を【NTP】に設定している場合

日付と時刻	
現在時刻	2024/02/21 11:32:53
同期プロトコル	NTP
NTP同期	オフ
NTPサーバー	
日付	日付の入力形式はYYYY/MM/DDです。
時刻	時刻の入力形式はhh:mm:ssです。
設定	

【同期プロトコル】を【SoftwareSync】に設定している場合

日付と時刻	
現在時刻	2025/04/22 18:12:43
同期プロトコル	SoftwareSync
ドメイン番号	0
プライマリー / セカンダリー	プライマリー
NTP同期	オフ
NTPサーバー	
日付	日付の入力形式はYYYY/MM/DDです。
時刻	時刻の入力形式はhh:mm:ssです。
設定	

- 1 【地域 / 都市】
地域および都市を選択してタイムゾーンを設定します。
- 2 【設定】
タイムゾーンの設定を本機に反映します。
- 3 【現在時刻】
現在のローカル日時を表示します。
- 4 【同期プロトコル】
【NTP】：ネットワークを介して NTP（Network Time Protocol）サーバーと時刻同期を行う場合に選択します。ミリ秒単位の時刻同期精度です。
【SoftwareSync】：機器間で PTP（Precision Time Protocol）方式を用いた時刻同期を行う場合に選択します。マイクロ秒単位の時刻同期精度です。
- 5 【NTP 同期】
NTP サーバーとの時刻同期を設定します。
【オン】：NTP サーバーと同期して、自動で日時を設定する場合に選択します。
【オフ】：NTP サーバーとは同期せず、【日付】と【時刻】を入力する場合に選択します。

- 6 【NTP サーバー】
【NTP 同期】を【オン】に設定している場合に、同期する NTP サーバーの IP アドレスまたはサーバー名を入力します。
- 7 【日付】
【NTP 同期】を【オフ】に設定している場合に、年月日を入力します。
- 8 【時刻】
【NTP 同期】を【オフ】に設定している場合に、時刻を入力します。
- 9 【設定】
【日付と時刻】の設定内容を本機に反映します。
- 10 【ドメイン番号】
時刻の同期を行う機器間の識別番号を設定します。[0] ～ [127] の半角数字が使用可能です。
- 11 【プライマリー / セカンダリー】
時刻の同期元となる 1 台に【プライマリー】を設定して、それ以外には【セカンダリー】を設定します。

お知らせ

- [NTP サーバー] にサーバー名を入力する場合は、[システム] メニュー→ [ネットワーク] ページの [DNS] に DNS サーバーアドレスを入力しておく必要があります。
- [NTP サーバー] には、次の半角文字を使用できます。
 - アルファベット大文字
 - アルファベット小文字
 - 数字
 - 特殊記号 (/:%#\$&?()^.=+-)
- [同期プロトコル] を [SoftwareSync] に設定し、[プライマリー / セカンダリー] を [セカンダリー] に設定している場合、[NTP 同期] は設定できません。
- 本機の再生機能を使用しているときに、[NTP 同期] の設定を変更して NTP サーバーと時刻同期することで内蔵時計の日時が大きく変化した場合、同期再生などの再生動作が不安定になることがあります。その場合は [システム] メニュー→ [再起動] ページで、本機の再起動を行ってください。
- [日付と時刻] ページを表示した時刻と、本機に内蔵されている時計の時刻との時間差が 2 秒以上ある場合、[日付と時刻] ページの表示内容が自動更新されます。
- 時刻を設定してもすぐに時刻が合わなくなる場合は、本機内部の電池交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。

【初期化】 ページ

ユーザー設定データを初期化して、本機の設定を工場出荷時の状態に戻します。
[システム] メニュー→ [初期化] をクリックします。



1 【初期化オプション】

初期化したい項目を選択します。

【すべての設定】：すべてのユーザー設定データを初期化する場合にチェックを入れます。

【プレーヤー設定】：[プレーヤー] メニュー下のすべての設定内容を初期化する場合にチェックを入れます。

【幾何学補正設定】：「幾何学歪補正・設置調整ソフトウェア」または「Visual Software Suite」を用いて調整した内容を初期化する場合にチェックを入れます。

【ネットワーク設定】：[システム] メニュー→ [ネットワーク] ページの設定内容を初期化する場合にチェックを入れます。

【コンテンツデータ】：本機内蔵のストレージに保存されているコンテンツ、プレイリスト、タイムテーブル、スケジュールのすべてのデータを削除する場合にチェックを入れます。

2 【OK】

クリックすると確認画面が表示され、[OK] を選択すると【初期化オプション】で選択した項目の初期化を開始します。初期化が完了すると確認画面が表示されるので [OK] をクリックしてください。初期化を完了させるために、本機が再起動します。

お願い

- [OK] をクリックして初期化を開始した場合は、本機が再起動して動作中になるまでは電源を切らないでください。動作中になると、電源インジケータ 〈POWER〉 が緑色に点灯します。(☞ 27 ページ)

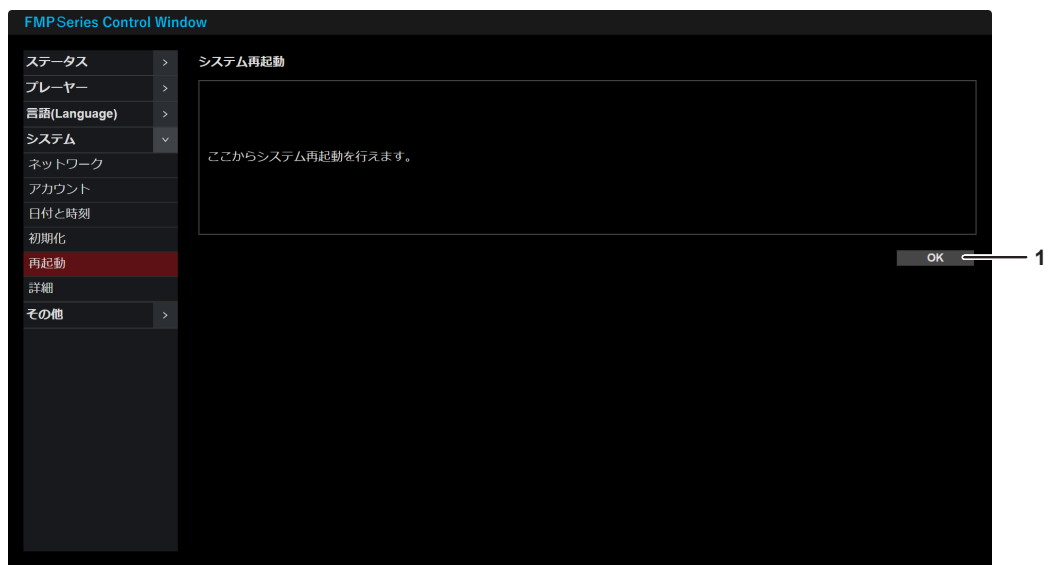
お知らせ

- 【初期化オプション】の【すべての設定】または【ネットワーク設定】を選択して初期化を行うと、設定に使用しているコンピューターとの接続が切れます。また、アカウントの設定も初期化されます。再起動後、「設定する」(☞ 31 ページ)に従ってネットワークの設定とアカウントの設定を行ってください。
- 初期化を行っている最中は、〈HDMI OUT 1〉端子、または〈HDMI OUT 1〉 / 〈HDMI OUT 2〉 / 〈HDMI OUT 3〉 / 〈HDMI OUT 4〉端子から全黒の映像信号が出力されます。
- 初期化を行っている最中は、本機前面の電源インジケータ 〈POWER〉 が緑色で点滅します。電源インジケータ 〈POWER〉 の状態表示について詳しくは、「電源インジケータについて」(☞ 27 ページ)をご覧ください。
- 「幾何学歪補正・設置調整ソフトウェア」を用いて調整できる内容については、「幾何学歪補正・設置調整ソフトウェア」の取扱説明書をご覧ください。
- 「Visual Software Suite」の設置調整機能を用いて調整できる内容については、「Visual Software Suite」の取扱説明書をご覧ください。
- 「幾何学歪補正・設置調整ソフトウェア」、「Visual Software Suite」の取扱説明書は、次の Web サイトからダウンロードできます。
<https://connect.panasonic.com/jp-ja/projector/pass>
なお、ダウンロードするには、PASS に会員登録いただいたうえでログインする必要があります。

【再起動】 ページ

本機を再起動します。

【システム】メニュー→【再起動】 をクリックします。



- 1 【OK】
クリックすると確認画面が表示されるので【OK】を選択してください。本機が再起動します。

お知らせ

- 再起動すると、設定に使用しているコンピューターとの接続が切れます。

【詳細】 ページ

本機の詳細設定を行います。

[システム] メニュー→ [詳細] をクリックします。



- 1 **【ホスト名】**
本機の名前を入力します。DHCP サーバーを利用する場合などにホスト名が必要であれば入力してください。(半角で 4 文字～ 24 文字まで)
- 2 **【設定】**
[ホスト名] の設定内容を本機に反映します。
- 3 **【モード】**
電源インジケータ 〈POWER〉 の動作モードを設定します。
【ノーマル】：本機の状態に合わせて点灯・点滅します。
【オフ】：[通知] の設定に従って消灯・点滅します。
- 4 **【通知】**
【有効】：正常動作中は、電源インジケータ 〈POWER〉 の緑色点灯は行わずに消灯します。エラー / 警告発生時など、正常動作中以外の場合には、本機の状態に合わせて点灯・点滅します。
【無効】：本機の状態によらず常時消灯します。本機にエラー / 警告が発生した場合でも電源インジケータ 〈POWER〉 による通知を行いません。
- 5 **【設定】**
[モード] と [通知] の設定内容を本機に反映します。

お知らせ

- [ホスト名] には、次の半角文字を使用できます。
 - アルファベット大文字
 - アルファベット小文字
 - 数字
 - 特殊記号 (-)
- 次の場合は 〈HDMI OUT 1〉 端子、または 〈HDMI OUT 1〉 / 〈HDMI OUT 2〉 / 〈HDMI OUT 3〉 / 〈HDMI OUT 4〉 端子から全黒の映像信号が出力されます。
 - スケジュール再生が停止中
 - ストリーミング再生が停止中
 - ストリーム映像が途絶えている
 - タイムライン再生が停止中
 - 初期化中
 - ファームウェアをアップデート中
- [通知] の設定にかかわらず、本機の起動中は、本機前面の電源インジケータ 〈POWER〉 がオレンジ色に点灯します。
- 電源インジケータ 〈POWER〉 の状態表示について詳しくは、“電源インジケータについて” (📖 27 ページ) をご覧ください。

【その他】について

【ファームウェアアップデート】 ページ

本機のファームウェアをアップデートする場合に操作します。
 【その他】メニュー→【ファームウェアアップデート】をクリックします。

アップデート用のファームウェアは、次の「パナソニック 業務用ディスプレイ / プロジェクター テクニカルサポートサイト」からダウンロードできます。現在のファームウェアバージョンよりも新しいものが公開されている場合に、お客様ご自身でファームウェアをアップデートできます。

保存先を指定してファームウェアデータ（zip 形式の圧縮ファイル）をダウンロードしたのちに、解凍してください。アップデートに使用できるファームウェアデータ（rom 形式のファイル）が生成されます。

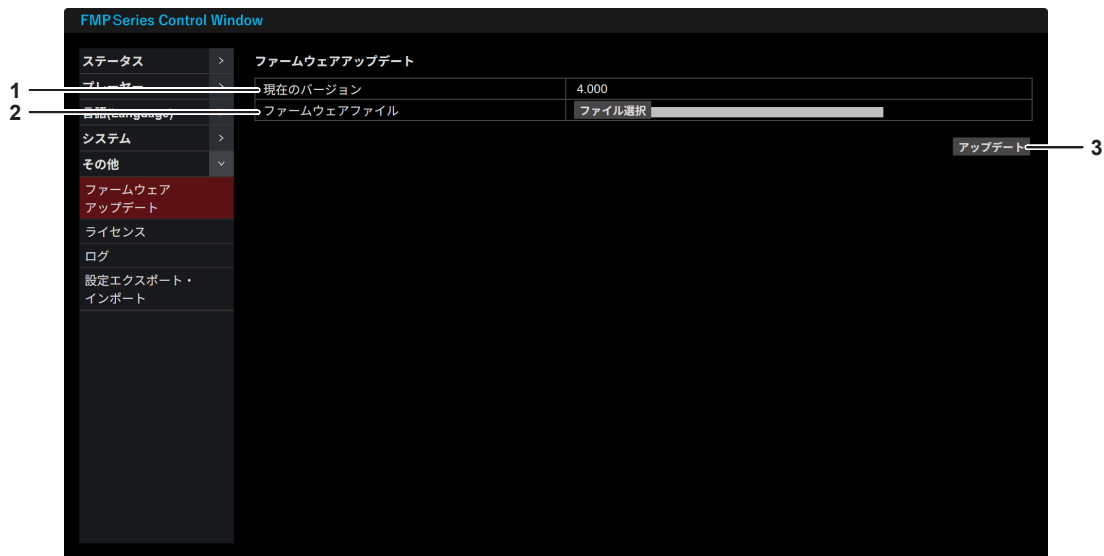
<https://connect.panasonic.com/jp-ja/projector/pass>

ファイル名（例）

- FMP_Update_1002.zip（解凍後：FMP_Update_1002.rom）
 （バージョン 1.002 の ET-FMP50/ET-FMP20 用ファームウェアデータ）

なお、アップデートできるファームウェアの有無を確認したり、ファームウェアをダウンロードしたりするには、PASS^{*1} に会員登録いただいたうえでログインする必要があります。

*1 「PASS」とは、パナソニック 業務用ディスプレイ / プロジェクター テクニカルサポートサイトの名称です。



1 【現在のバージョン】

現在のファームウェアのバージョンが表示されます。

2 【ファームウェアファイル】

【ファイル選択】をクリックしてアップデート用のファームウェアデータを指定すると、選択したファイル名が表示されます。

3 【アップデート】

クリックすると確認画面が表示され、【開始】を選択するとファームウェアのアップデートを開始します。アップデートが完了すると、本機が再起動します。

お願い

- ファームウェアをアップデート中は、本機の電源を切らないでください。

お知らせ

- ファームウェアをアップデート中は、〈HDMI OUT 1〉端子、または〈HDMI OUT 1〉 / 〈HDMI OUT 2〉 / 〈HDMI OUT 3〉 / 〈HDMI OUT 4〉端子から全黒の映像信号が出力されます。
- 再起動すると、設定に使用しているコンピューターとの接続が切れます。
- ファームウェアをアップデート中は、本機前面の電源インジケータ 〈POWER〉が緑色で点滅します。電源インジケータ 〈POWER〉の状態表示について詳しくは、「電源インジケータについて」（ 27 ページ）をご覧ください。

【ライセンス】 ページ

本機で使用しているオープンソースソフトウェアに関する文書ファイルをダウンロードできます。
[その他] メニュー→ [ライセンス] をクリックします。



- 1 【ダウンロード】
クリックすると、ライセンスのダウンロードを開始します。保存先を指定してダウンロードしてください。

お知らせ

- ライセンス内容はテキスト形式で提供され、本機のファームウェアに zip 形式で圧縮されて格納されています。
ファイル名 : License.zip

【ログ】 ページ

本機にエラー / 警告が発生した場合、その内容はエラーログファイルに記録されます。また、Web 制御画面を操作した際の内容は操作ログファイルに記録されます。これらのログファイルを確認することで、エラー / 警告の発生日時や内容、さらにエラー / 警告が発生する前に行った操作内容を把握することができます。

[その他] メニュー→ [ログ] をクリックします。



1 【ダウンロード】

クリックすると、エラーログファイルと操作ログファイルが 1 つの圧縮ファイルとしてダウンロードを開始します。保存先を指定してダウンロードしてください。

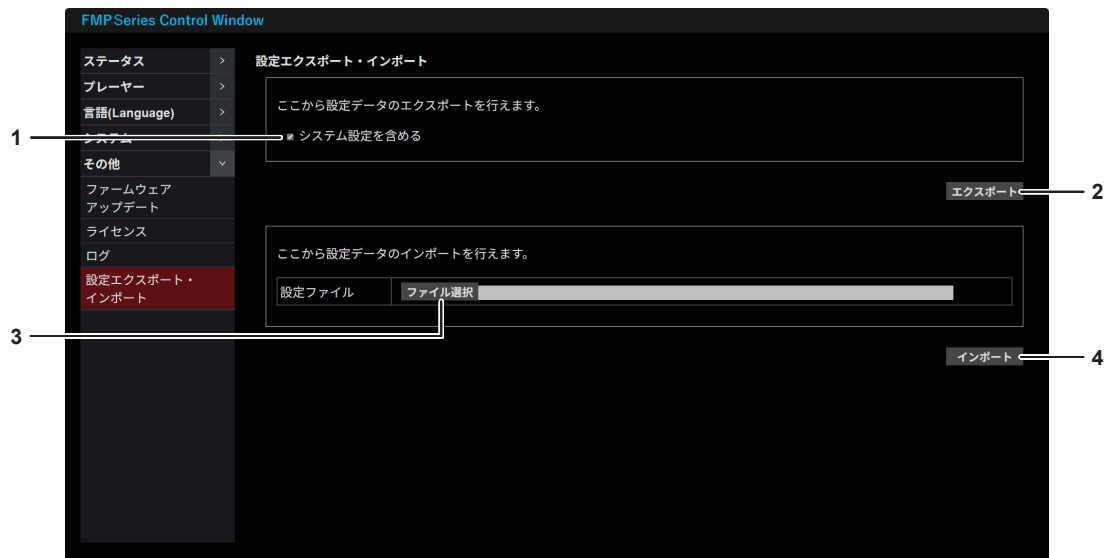
お知らせ

- ダウンロードした圧縮ファイルは zip 形式で保存されています。
圧縮ファイル名：Log.zip
エラーログファイル名：FMP.log
操作ログファイル名：FMP_Operation.log
- エラーログおよび操作ログは英語のテキストで記録されています。
- エラーログファイルの内容例
2024/01/23 12:34:56.789 [WARNING] Intake air temp. warning(U201)
- 2024/01/23 12:34:56.789：エラー / 警告の発生日時
- [WARNING]：エラー / 警告の分類
- U201：エラー / 警告番号
- 操作ログファイルの内容例
[OPERATION] 2025/01/23 12:34:56.789 [Player Settings] Set Button Click.
- [OPERATION]：操作の分類
- 2025/01/23 12:34:56.789：操作の日時
- [Player Settings]：Web 制御画面の操作ページ
- Set Button Click.：Web 制御画面の操作内容

【設定エクスポート / インポート】 ページ

本機の設定情報を出力 / 読み込みができます。

[その他] メニュー→ [設定エクスポート / インポート] をクリックします。



- 1 **【システム設定を含める】**
チェックを入れると、次のページの設定内容が出力される設定情報に含まれます。
[システム] メニュー→ [ネットワーク] ページ (🔗 45 ページ)
[システム] メニュー→ [日付と時刻] ページ (🔗 47 ページ)
- 2 **【エクスポート】**
設定情報をファイルとして出力します。
- 3 **【ファイル選択】**
インポートする設定情報ファイルを指定します。
- 4 **【インポート】**
指定したファイルから設定情報を読み込みます。

お知らせ

- [システム] メニュー→ [アカウント] ページの設定内容はエクスポートの対象外です。

再生機能を使用する

スケジュール再生を行う

本機内蔵のストレージに保存したコンテンツを、お客様ご自身で作成したスケジュールに従って再生できます。ここで言う「スケジュール」とは、本機でスケジュール再生するために必要なデータ一式をまとめたものの総称を指します。このスケジュールには、静止画や動画などのコンテンツ、複数のコンテンツを 1 つの素材としてまとめたプレイリスト、1 日の中で再生する内容を定義したタイムテーブル、さらにはそのタイムテーブルに基づいて再生する日、曜日、期間などを定義した設定データが含まれています。

コンテンツの登録やスケジュールの作成には、アプリケーションソフト「コンテンツマネージメントソフトウェア」(Content Management Software for FMP series) または「Visual Software Suite」を使用します。「コンテンツマネージメントソフトウェア (Content Management Software for FMP series)」、「Visual Software Suite」のダウンロードについては、次の Web サイトの PASS にログインし、ソフトウェアのダウンロードページをご覧ください。

<https://connect.panasonic.com/jp-ja/projector/pass>

■ 基本的な操作の流れ

1) スケジュールを作成する

- 「コンテンツマネージメントソフトウェア」または「Visual Software Suite」を用いてスケジュールを作成します。

2) スケジュールを出力する

- 作成したスケジュールを本機に出力します。

3) 本機の設定を確認する

- [プレーヤー] メニュー→ [設定] ページの [プレーヤー] を [Schedule] に設定します。
- 本機の日時に従って、作成したスケジュールに沿ってコンテンツが再生されます。

お知らせ

- 本機の起動直後にプレイリストが再生されるスケジュールになっている場合は、プレイリストの再生開始時刻よりも前に起動が完了するように通電を開始してください。起動の完了がプレイリストの再生開始時刻に間に合わなかった場合は、プレイリストに登録されている先頭のコンテンツから再生されないことがあります。

ストリーミング再生を行う

同一ネットワーク上にあるストリーム送信機器から配信される映像コンテンツデータを本機に取り込みながら再生できます。

■ 基本的な操作の流れ

1) 本機の設定を確認する

- [プレーヤー] メニュー→ [設定] ページの [プレーヤー] を [NDI(NDI Decoder)] に設定します。

2) 再生する

- [プレーヤー] メニュー→ [ストリーム一覧] ページで、ストリームの選択と、再生の設定操作を行ってください。

お知らせ

- タイムライン再生の使い方については、次の Web サイトをご覧ください。
<https://connect.panasonic.com/jp-ja/projector>

同期再生を行う

同一ネットワークに本機を複数台接続している場合、コンテンツの同期再生を行うことができます。機器接続の構成については、“運用イメージ” (👉 30 ページ) を参照してください。

■ 設定のポイント

- 同期再生を行う場合、[同期プロトコル] を時刻同期精度の高い [SoftwareSync] に設定することをお勧めします。PTP (Precision Time Protocol) 方式による機器間の同期を行えないネットワーク環境や使用環境の場合は、[同期プロトコル] を [NTP] に設定してください。[同期プロトコル] は [システム] メニュー → [日付と時刻] ページで設定します。(👉 47 ページ)
- 同期させる機器のドメイン番号は共通にしてください。ドメイン番号は [システム] メニュー → [日付と時刻] ページ → [ドメイン番号] で設定します。(👉 47 ページ)
- [同期プロトコル] を [SoftwareSync] に設定して同期再生を行う場合、同一ドメイン番号に設定している機器内でプライマリーに設定するのは 1 台のみとしてください。それ以外の機器はセカンダリーに設定してください。
- [同期プロトコル] を [NTP] に設定して同期再生を行う場合、同一ネットワークに接続している機器内でプライマリーに設定するのは 1 台のみとしてください。それ以外の機器はセカンダリーに設定してください。

第5章 その他

お手入れの方法や、点検方法、仕様、アフターサービスなどについて説明しています。

お手入れ

長期間の使用で、吸気口や排気口がゴミやほこりによってふさがれることがあります。吸気口、排気口は定期的に掃除してください。

お手入れの前に

- お手入れを行うときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて電源を切ってください。

お手入れ

外装ケースの汚れやほこりは、やわらかい乾いた布でふき取ってください。

- ゴミやほこりを取り除くときは、本機内部に落とさないようにしてください。
- 汚れがひどいときは水にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤、または台所用洗剤を使用しないでください。使用すると塗装がはがれたり、変色したりするおそれがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

故障かな！？

もう一度次の点をお調べください。詳しくは、対応するページをご覧ください。

症状	ここをお調べください	ページ
電源が入らない	● 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	—
	● 電源コネクタが AC アダプターにしっかり差し込まれていますか。	—
	● AC アダプターのプラグが本機にしっかり差し込まれていますか。	—
	● 電源プラグを差し込んでいるコンセントは通電していますか。	—
	● ブレーカーが落ちていませんか。	—
	● 電源インジケータが赤点滅していませんか。	27
映像が出ない	● プロジェクターとの接続は正しく行われていますか。	22
	● プロジェクターは正常に動作していますか。	—
	● プロジェクターの入力は正しく選択されていますか。	—
	● 次の項目は正しく設定されていますか。 - [プレーヤー] メニュー → [設定] ページの [プレーヤー] - [プレーヤー] メニュー → [設定] ページの [出力モード]	37
音が出ない	● 実際に音声を出力する機器との接続は正しく行われていますか。	22
	● 本機から音声出力していますか。ミュートしていませんか。	39
	● 音声を HDMI 端子から出力している場合は、接続機器の音声をリニア PCM に設定してください。	—
スケジュール再生が開始されない	● 次の項目は正しく設定されていますか。 - [プレーヤー] メニュー → [設定] ページ → [プレーヤー]	37
	● 次の項目で日時を正しく設定していますか。 - [システム] メニュー → [日付と時刻] ページ	47
映像の動きが不自然	● 本機からの映像出力信号の周波数が再生コンテンツの周波数と異なる場合、動画のスムーズさが損なわれることがあります。	—
映像表示と音声のタイミングが合っていない	● 本機からの映像出力信号の周波数が再生コンテンツの周波数と異なる場合、映像表示と音声のタイミングが合わないことがあります。	—
	● <AUDIO OUT> 端子を使用している場合、次の項目は適切に設定されていますか。 - [プレーヤー] メニュー → [オーディオ制御] ページ → [音声遅延時間]	39
再生機能を使用中にフレームスキップが発生する	● 「幾何学歪補正・設置調整ソフトウェア」(Geometry Manager Pro for FMP series) または「Visual Software Suite」を起動しているコンピューターをネットワーク接続していませんか。このソフトウェアを起動したままにしていると再生機能の動作に影響を及ぼすことがあります。スケジュール再生やストリーミング再生を行う場合は、「幾何学歪補正・設置調整ソフトウェア」および「Visual Software Suite」を終了してください。	—
	● NDI に対応したストリーミングコンテンツを再生中に、ネットワーク遅延が発生していたり、本機の処理能力を超える負荷がかかっていたりする場合、フレームスキップが行われます。	—

お願い

- 表の内容を確認後、正常に動作しない場合は販売店にご相談ください。

自己診断表示について

本機にエラーや警告が発生した場合、Web 制御画面の [ステータス] メニュー→ [ステータス] ページの [エラー / 警告] の項目にその内容が表示されます。(🔍 35 ページ)

エラーや警告が発生した場合に表示される記号とその内容は、次の表のとおりです。“対応番号”をご確認のうえ、“エラーや警告への対応” (🔍 61 ページ) の対応に従ってください。

エラー / 警告番号	エラー / 警告記号内容	対応番号
U200	CPU 温度警告	1
U201	吸気温度警告	1
U251	FPGA 温度警告	1
U301	吸気温度エラー	1
U351	FPGA 温度エラー	1
F151	FPGA 起動エラー	2
F161	ストレージデバイス通信エラー	2
F200、F201	ファン回転数警告	2
F300、F301	ファン回転数エラー	2
H001	内部時計用電池交換	3

お知らせ

- 表示されたエラー / 警告記号と実際の故障内容が異なる場合があります。
- 表に記載されていないエラー / 警告が表示された場合は、販売店にご相談ください。

エラーや警告への対応

対応番号	対応
1	使用環境温度が高すぎるか、吸気口または排気口がふさがれている可能性があります。適切な使用環境温度下 ^{*1} でご使用ください。または、吸気口や排気口をふさいでいるものを取り除いてください。 処置をしてもエラー / 警告の表示が消えない場合は、販売店に修理をご依頼ください。
2	電源を入れ直しても表示が消えない場合は販売店にご相談ください。
3	電池交換が必要です。販売店にご相談ください。

*1 本機の使用環境温度については、“使用環境条件” (🔍 62 ページ) をご覧ください。

仕様

本機の仕様は次のとおりです。

使用電源		DC 15.6 V（DC 入力端子）	
消費電力		64 W （付属の AC アダプターを含む）	
AC アダプター		入力：AC 100 V 1.5 A 50 Hz/60 Hz 出力：DC 15.6 V 7.05 A	
電源コードの長さ		2.0 m	
外形寸法	横幅	210 mm	
	高さ	54 mm	
		44 mm（脚含まず）	
	奥行	295 mm（突起部含まず）	
質量 *1		本体：約 2.0 kg AC アダプター：約 0.4 kg（電源コード含まず）	
使用環境条件	使用温度	0 ℃～40 ℃	
	使用湿度	10 %～80 %（結露のないこと）	
ストレージ		ET-FMP50	4 TB
		ET-FMP20	512 GB このうち約 30 GB はシステム領域として使用します。（ユーザー使用不可）
接続端子	〈HDMI OUT 1〉 端子 〈HDMI OUT 2〉 端子 〈HDMI OUT 3〉 端子 〈HDMI OUT 4〉 端子	HDMI x 4 音声信号：リニア PCM（サンプリング周波数：44.1 kHz/48 kHz）	
	〈AUDIO OUT〉 端子	M3 ステレオミニジャック x 1 0 V[rms] ～ 2.0 V [rms]（可変）、出力インピーダンス 2.2 k Ω以下	
	〈LAN〉 端子	RJ-45 x 1 ネットワーク接続用 10Base-T/100Base-TX/1000Base-T	
映像出力信号	〈HDMI OUT 1〉 端子	3 840 x 2 160/60p、3 840 x 2 160/50p、 1 920 x 1 080/60p、1 920 x 1 080/50p カラーフォーマット：RGB 色深度：8 bit	[出力モード] *2 を [1] に設定時
		1 920 x 1 080/60p、1 920 x 1 080/50p カラーフォーマット：RGB 色深度：8 bit	[出力モード] *2 を [4] に設定時
	〈HDMI OUT 2〉 端子 〈HDMI OUT 3〉 端子 〈HDMI OUT 4〉 端子	1 920 x 1 080/60p、1 920 x 1 080/50p カラーフォーマット：RGB、色深度：8 bit	
スケジュール再生対応コンテンツ		「コンテンツマネジメントソフトウェア（Content Management Software for FMP series）」で作成したスケジュールデータ *3 「Visual Software Suite」のコンテンツ管理機能で作成したスケジュールデータ *3	
ストリーミング再生対応コンテンツ	NDI	画像圧縮方式	High Bandwidth NDI
		画像解像度 / フレームレート	1 920 × 1 080 / 60 fps、 1 920 × 1 080 / 50 fps、 3 840 × 2 160 / 60 fps、 3 840 × 2 160 / 50 fps
		音声信号	リニア PCM、サンプリング周波数：44.1 kHz / 48 kHz、16 ビット、2 チャンネル
タイムライン再生対応コンテンツ		「Visual Software Suite」のコンテンツ管理機能で作成したプレイリストデータ *3	

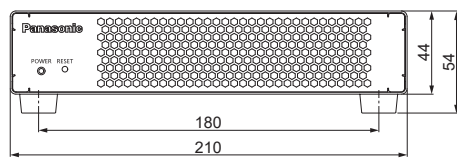
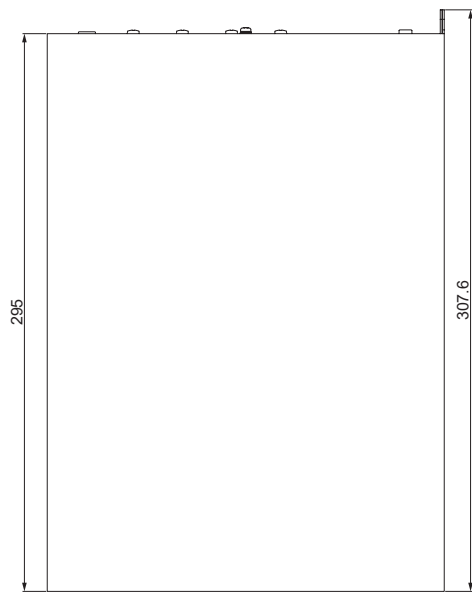
*1 平均値。各製品で質量が異なる場合があります。

*2 Web 制御画面の [プレーヤー] メニュー → [設定] ページで設定します。

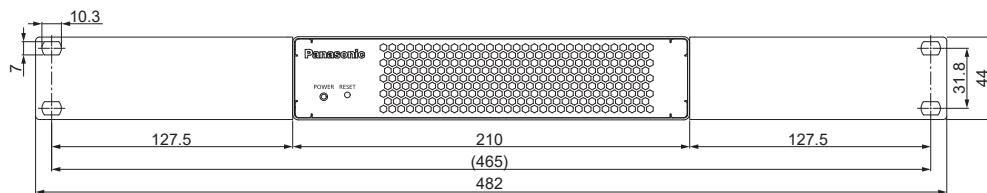
*3 スケジュールデータとは、本機でスケジュール再生するために必要なデータ一式をまとめたものの総称を指します。このスケジュールには、静止画や動画などのコンテンツ、複数のコンテンツを 1 つの素材としてまとめたプレイリスト、1 日の中で再生する内容を定義したタイムテーブル、さらにはそのタイムテーブルに基づいて再生する日、曜日、期間などを定義した設定データが含まれています。
プレイリストデータとは、静止画や動画などの複数のコンテンツを 1 つの素材としてまとめたものの総称を指します。
再生するコンテンツの解像度が、本機の出力解像度と異なる場合は、解像度を変換して出力されます。
再生に使用するコンテンツの音声コーデックは MPEG4 AAC-LC ですが、〈HDMI OUT 1〉 / 〈HDMI OUT 2〉 / 〈HDMI OUT 3〉 / 〈HDMI OUT 4〉 端子から音声信号を出力する場合はリニア PCM に変換されます。
再生できる静止画 / 動画コンテンツの詳細については、「コンテンツマネジメントソフトウェア (Content Management Software for FMP series)」および「Visual Software Suite」の取扱説明書をご覧ください。「コンテンツマネジメントソフトウェア (Content Management Software for FMP series)」および「Visual Software Suite」の取扱説明書は、次の Web サイトからダウンロードできます。
<https://connect.panasonic.com/jp-ja/projector/pass>
なお、ダウンロードするには、PASS に会員登録いただいたうえでログインする必要があります。

外形寸法図

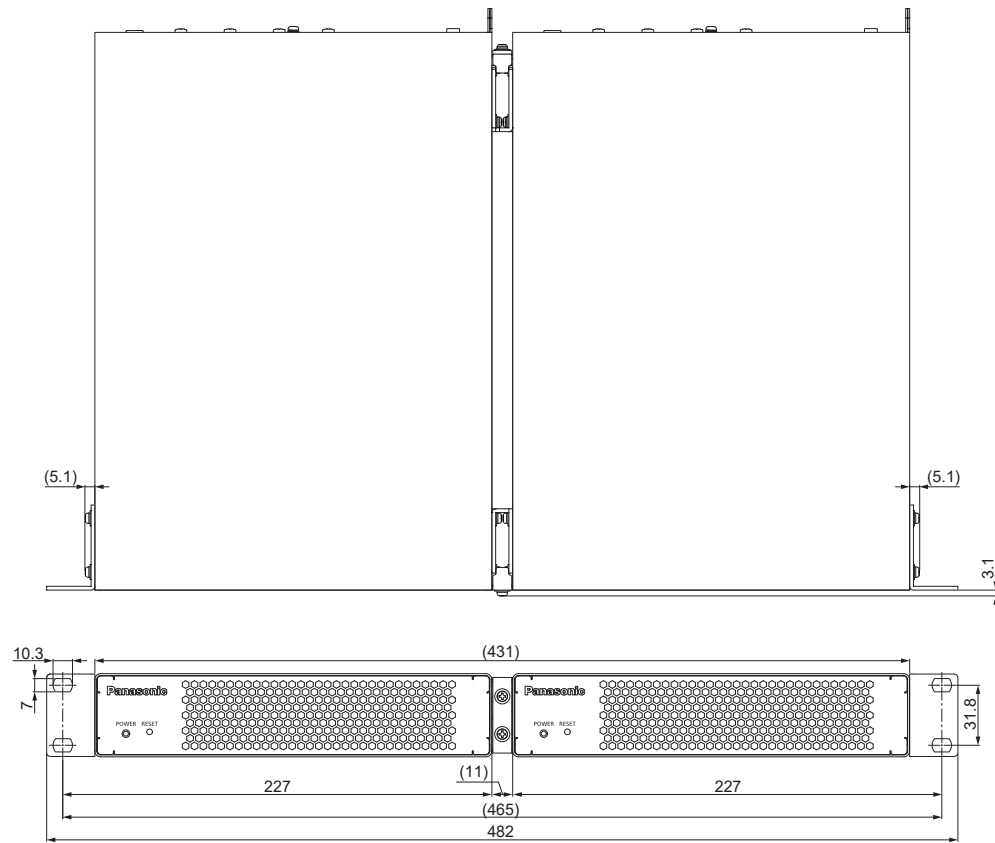
単位：mm



■ ラック取付キット（品番：ET-PKFMJ1）を取り付けた場合



■ ラック取付キット（品番：ET-PKFMJ2）を取り付けた場合



さくいん

A		せ	
AC アダプター	24	接続	22
接続	24	設置	16
〈AUDIO OUT〉 端子	13	高所	19
D		留意事項	10
〈DC IN〉 端子	13	設定	31
H		〔設定エクスポート/インポート〕 ページ	55
〈HDMI OUT 1〉 端子	13	〔設定〕 ページ	37
〈HDMI OUT 2〉 端子	13	そ	
〈HDMI OUT 3〉 端子	13	〔その他〕 メニュー	52
〈HDMI OUT 4〉 端子	13	た	
L		対応アプリケーション	11
LAN ケーブル	29, 31	て	
〈LAN〉 端子	13	電源	24
R		電源インジケータ (POWER)	13, 27
〈RESET〉 ボタン	13	と	
U		同期再生	57
〈USB〉 端子	13	特長	8
W		ね	
Web 制御機能	29	〔ネットワーク〕 ページ	45
Web ブラウザー	29, 31, 33	は	
あ		廃棄	11
アカウント	31, 33	ひ	
〔アカウント〕 ページ	46	〔日付と時刻〕 ページ	47
アフターサービス	66	ふ	
安全上のご注意	3	〔ファームウェアアップデート〕 ページ	52
う		付属品	12
運搬時の留意事項	10	〔プレイリスト〕 ページ	42
え		〔プレーヤー〕 メニュー	37, 39, 40, 41, 42, 43
エラーや警告への対応	61	〔レビュー〕 ページ	43
お		プロジェクター	22
〔オーディオ制御〕 ページ	39	へ	
お手入れ	59	別売品	12
か		ほ	
外形寸法図	63	保管	11
け		保証	66
〔言語 (Language)] メニュー	44	ら	
〔言語設定 (Language)] ページ	44	〔ライセンス〕 ページ	53
こ		ラック	16
〔高度な設定〕 ページ	41	1 台取り付け	17
ご使用になる前に	10	2 台取り付け	18
コンピューター	29, 31	ろ	
さ		〔ログ〕 ページ	54
〔再起動〕 ページ	50	わ	
再生	56	ワイヤー (落下防止用)	21
し			
自己診断表示	61		
〔システム〕 メニュー	45		
修理のご依頼の前に	60		
仕様	62		
〔詳細〕 ページ	51		
〔初期化〕 ページ	49		
す			
スケジュール再生	56		
〔スケジュール情報〕 ページ	36		
〔ステータス〕 ページ	35		
〔ステータス〕 メニュー	35, 36		
ストリーミング再生	56		
〔ストリーマー覧〕 ページ	40		

故障・修理・お取扱い・メンテナンス

などのご相談は、まず、

お買い上げの販売店

へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、パナソニック業務用プロジェクターサポートセンター（下記）までご連絡ください。

* 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がありますのでご了承ください。

保証書

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。内容をよくお読みいただき、大切に保存してください。万一、保証期間内に故障を生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

* 保証内容に関して、詳しくは次の Web サイトの「保証とアフターサービス」のページをご確認ください。
<https://connect.panasonic.com/jp-ja/projector>

補修用性能部品の保有期間

5 年

パナソニック プロジェクター & ディスプレイ株式会社では、本製品の補修用性能部品を、製造打ち切り後、5 年間保有しています。

* 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理のご依頼について

この取扱説明書を再度ご確認ください。お買い上げの販売店までご連絡ください。

■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■ ご連絡いただきたい内容

品名	メディアプロセッサ
品番	ET-FMP50 / ET-FMP20
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

パナソニック 業務用プロジェクターサポートセンター

電話

フリー
ダイヤル



0120-872-601

※携帯電話からもご利用いただけます。

営業時間：月～金（祝日と弊社休業日を除く）
9:00～17:30（12:00～13:00は受付のみ）

URL https://connect.panasonic.com/jp-ja/projector_support

- * 文書や電話でお答えすることがあります。また、返事を差しあげるのにお時間をいただくことがあります。
- * お電話の際には、番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

【当サポートセンターにおけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック プロジェクター&ディスプレイ株式会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

【修理をご要望されるお客様へのお願い】

当社ではお客様からお預りする製品の取り扱いには細心の注意を払っておりますが、本製品の内蔵ストレージに保存されているデータにつきましては、当社は一切の責任を負うことができません。

修理に出す前に、アプリケーションソフトを用いて設定・登録したデータがお客様のコンピューターにオリジナルデータとして残されていることをご確認ください。運送中や当社での修理中にデータが消失する可能性があります。このような場合、当社は一切の責任を負うことはできませんので、あらかじめご了承くださいませようお願い申し上げます。

パナソニック プロジェクター&ディスプレイ株式会社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号